

マルチスキャン プロジェクター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPH-G70QJ

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～8 ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。(有料)

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第一種情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



アース線を
接続せよ



プラグをコン
セントから抜く



強制

目次

△ 警告	4
△ 注意	6
電池についての安全上のご注意	8

概要

本機の特長	9
各部の名称と働き	10

スクリーンに画像を映す - 投影

スクリーンに画像を映す - 投影	18
画質を調整する	20
画像の大きさと位置を調整する	21
センタリングを調整する	23

メニューで行う調整と設定

メニュー操作	25
入力切替メニュー	26
画質調整メニュー	27
信号設定メニュー	29
初期設定メニュー	32
入力情報メニュー	34
オプションメニュー	35

設置 / 接続例

設置例	36
設置例1 床置き、フロント投影(平面スクリーン使用時).....	36
設置例2 天井つり、フロント投影(平面スクリーン使用時).....	37
接続例	38
プロジェクターに直接映像機器を接続する	38
シグナルインターフェーススイッチャーPC-1271Jを使用する	39

保守・点検・その他

トラブル時の対処	40
本機の性能を保持するために	41
保証書とアフターサービス	41
仕様	42
索引	45



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口
に交換をご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



強制

本機は日本国内用です

交流 100V でお使いください。

海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁などから通風口を 30cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ 横倒しにしない。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



注意

開梱・運搬は二人以上で

開梱・運搬は、必ず二人以上で行ってください。一人で行うと腰を痛めたり、落として足を痛めたりすることがあります。



禁止

設置・修理は絶対自分でやらない

プロジェクターの設置や修理は必ず、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。自分で行うと事故につながることがあります。



注意

天吊り使用时、落下に注意する

天吊りで使用の場合、天井の強度が不十分だと、天井ごと落下し、死亡や大けがにつながる可能性があります。(詳しくは、プロジェクターサスペンションサポート PSS-70 の取付説明書をご覧ください。)



禁止

レンズを直接のぞかない

投影中にレンズを直接のぞき込むと目に悪影響を与えるおそれがあります。



注意

CRT 割れや放電により大きな音を発することがあります

CRT (ブラウン管) 割れが起こったり、放電すると、本体から大きな音がします。心臓の弱い方など、思わぬ事故につながる可能性がありますのでご注意ください。



禁止

スクリーンを長時間継続して見ない

投影画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐにプロジェクターの使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診断を受けてください。



禁止

容量の小さい電源延長コードを使用しない

容量の小さい延長コードを使うと、ショートしたり火災や感電の原因となることがあります。



禁止

キャビネットのカバーを開けて使用しない

カバーを開けたまま使用したり、キャビネットをはずして使用すると、感電の原因となることがあります。



禁止

ファンを止めて使用しない

電源を入れるとファンが働き、多少音を生じますが、ファンを止めてプロジェクターを使用しないでください。ファンが働かないと、内部の温度が上昇してCRT が破損したり、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

空調の悪い場所で長時間使用しない

空調の悪い所で長時間使用すると、本体内部の高圧部にほこりがついて火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に金属棒などを入れない

プロジェクターの開口部から内部に細い金属棒などを入れると、感電して死亡につながるおそれがありますので、絶対に入れないでください。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

製品の上に乗らない、重い物を載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



注意

移動させるときは電源コード、接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードや接続コードを足に引っかけると転倒したり、プロジェクターの落下によりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。



注意

接続の際は電源を切る

電源を入れたままで電源コードや接続コードを接続すると、感電や故障の原因となることがあります。



注意

指定された電源コード、接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



注意

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



注意

運搬・移動時はハンドルを持って慎重に

- 運搬するときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落としてけがをすることがあります。また、ハンドルと床や台の間に指を挟まないようにご注意ください。
- 運搬の際は、ドアに指を挟まないようにご注意ください。
- 運搬中にバランスを崩すと落下によりけがの原因となることがあります。
- 床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようにご注意ください。
- キャビネットを開けたまま、電源を切らずに移動させないでください。感電の原因となることがあります。



注意

CRT 液漏れが起きたらすぐに修理を依頼する

CRT(ブラウン管)液漏れが起きると床やじゅうたんなどを汚したり、やけどの原因となることがあります。すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にて点検・修理をご依頼ください。



禁止

キャビネットとレンズの間に手を入れない

キャビネットとレンズの間に手を入れると抜けなくなるなど、けがの原因となることがあります。



禁止

天吊りしてあるプロジェクターにぶらさがらない

天吊りのプロジェクターにぶらさがったりすると、落下してけがの原因となることがあります。

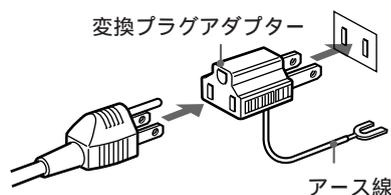


アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが2極の場合
付属の3極→2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- ・ 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・ 充電しない。
- ・ 指定された種類の電池を使用する。

注意

- ・ リモートコマンダーに単3形乾電池を入れるときは、⊖極側から入れる。
⊕極側から乱暴に入れようとする、特にアルカリ乾電池の場合、絶縁被膜が破れてショートすることがあり、液漏れや発熱のおそれがあります。
- ・ 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- ・ 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

本機の特長

マルチスキャン機能

15～110kHzの水平走査周波数、38～150Hzの垂直走査周波数と幅広い周波数に対応して入力を自動判別します。高解像度コンピューターやビデオ機器などを接続することができます。

高解像度、高輝度

新開発の8インチ電磁フォーカスCRTや、ハイブリッドHACC（高解像度非球面色収差補正）レンズの搭載、カソード/G1デュアルドライブ方式の広帯域ビデオアウト回路の採用などにより、解像度1700×1200ドット、輝度240ANSIルーメンのシャープで明るい高品質な画像を実現しました。

ハイコントラスト

ユニバーサルオプティカルカップリング技術、レンズへのダブルフォーカスシステムと無反射コーティング処理の採用により、画面周辺までハイコントラストできめの細かい、シャープな画像を実現しました。

便利なリモートコマンダー、オンスクリーン表示

付属のリモートコマンダーにより、入力信号の切り換え、画質調整をはじめとする各種調整を離れたところから行うことができます。また、オンスクリーン表示機能を装備しており、画面を見ながら各調整項目を操作できます。さらに、入力信号などの情報を画面に表示して、現在の設定状態を確認することもできます。プロジェクターの前後にリモートコマンダー用の受光部があるので、前後のどちらからでも調整することができます。また、プロジェクター本体に接続して、ワイヤードリモートコマンダーとしても使用することができます。

各種カラー方式に対応

自動切り換えでNTSC、PAL、SECAM、NTSC^{4.43}¹⁾、PAL Mの5つのカラー方式に対応します。

自由度の高い設置方法

投影サイズは60～300インチ（120インチ標準）に対応しています。フロント投影、リア投影、および、天吊り、床置きなど設置場所の広さ、明るさ、使用目的などに応じて、設置方法が自由に選べます。

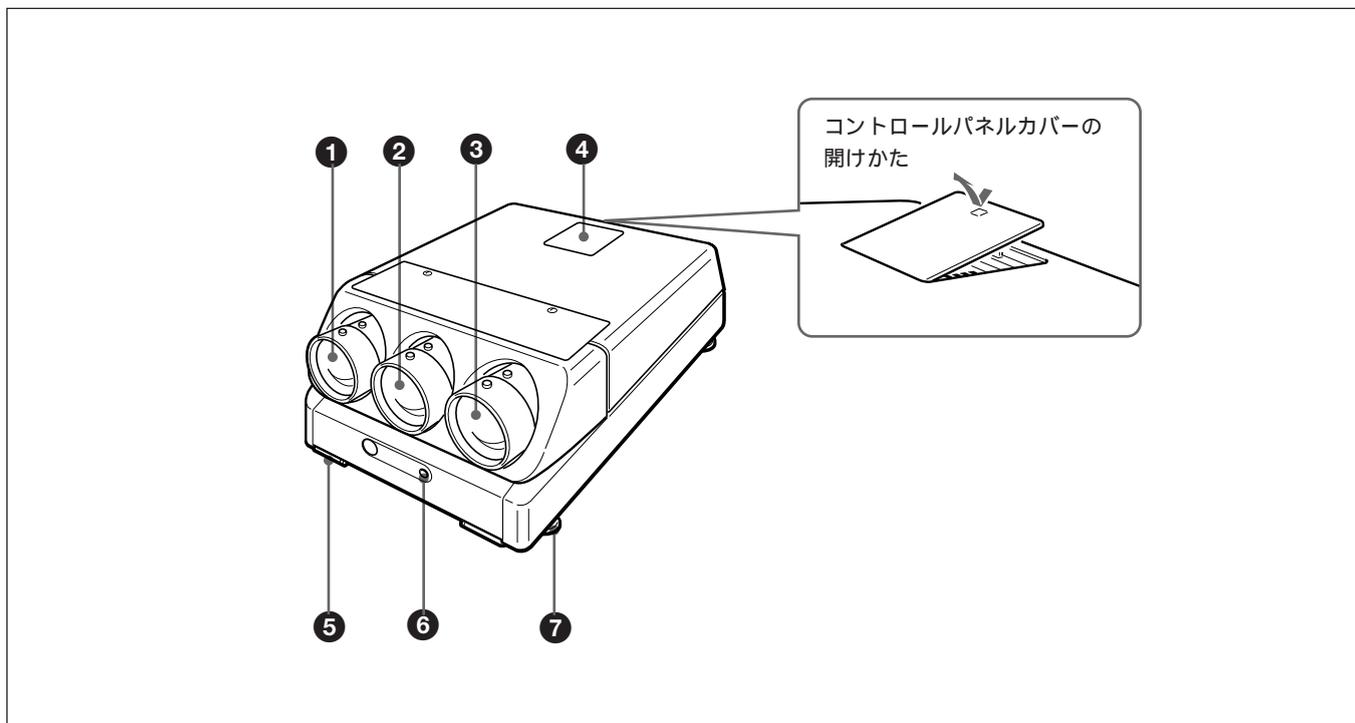
照明付きのコントロールパネル

リモートコマンダーおよび本体のコントロールパネルのLIGHTボタンを押すと、ボタン名が点灯します。暗い場所で操作するときに便利です。

1) NTSC^{4.43}とは、NTSC方式で録画されたビデオカセットを、NTSC^{4.43}方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。

各部の名称と働き

前面



① 青レンズ

② 緑レンズ

③ 赤レンズ

④ コントロールパネルカバー

カバーをあけると内部にコントロールキーがあります。

コントロールキーの配置と機能は、付属のリモートコマンダーと同じです。
詳しくは、「リモートコマンダー/コントロールパネル」(14ページ)をご覧ください。

⑤ ハンドル

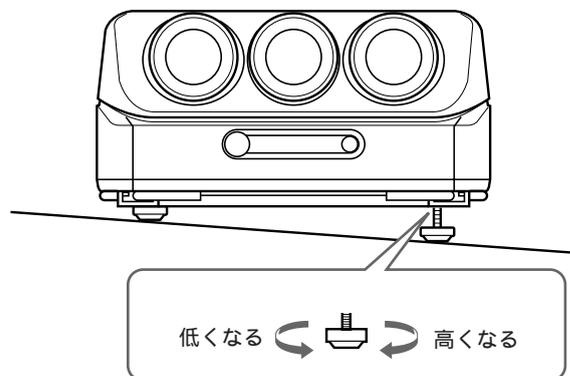
プロジェクターを持ち運ぶとき使用します。前後左右にハンドルがあります。

⑥ 前面リモコン受光部

⑦ アジャスター

プロジェクターを設置する場所が水平でない場合、プロジェクターが水平になるように調整します。

アジャスターの使いかた



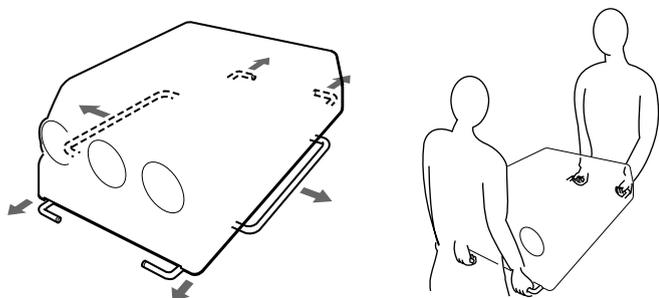
プロジェクターを持ち上げ、プロジェクターが水平になるように、アジャスターを回して調整してください。

ご注意

プロジェクターを持ち上げるときは、手をはさまないようにしてください。

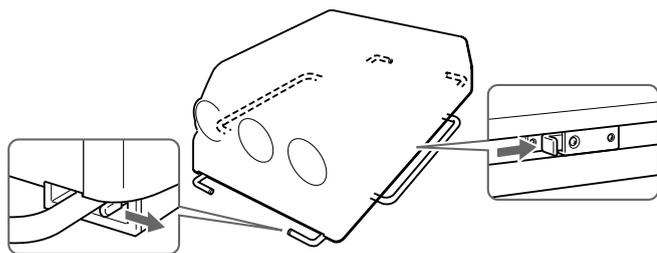
ハンドルの使いかた

前後または左右のハンドルを引き出します。

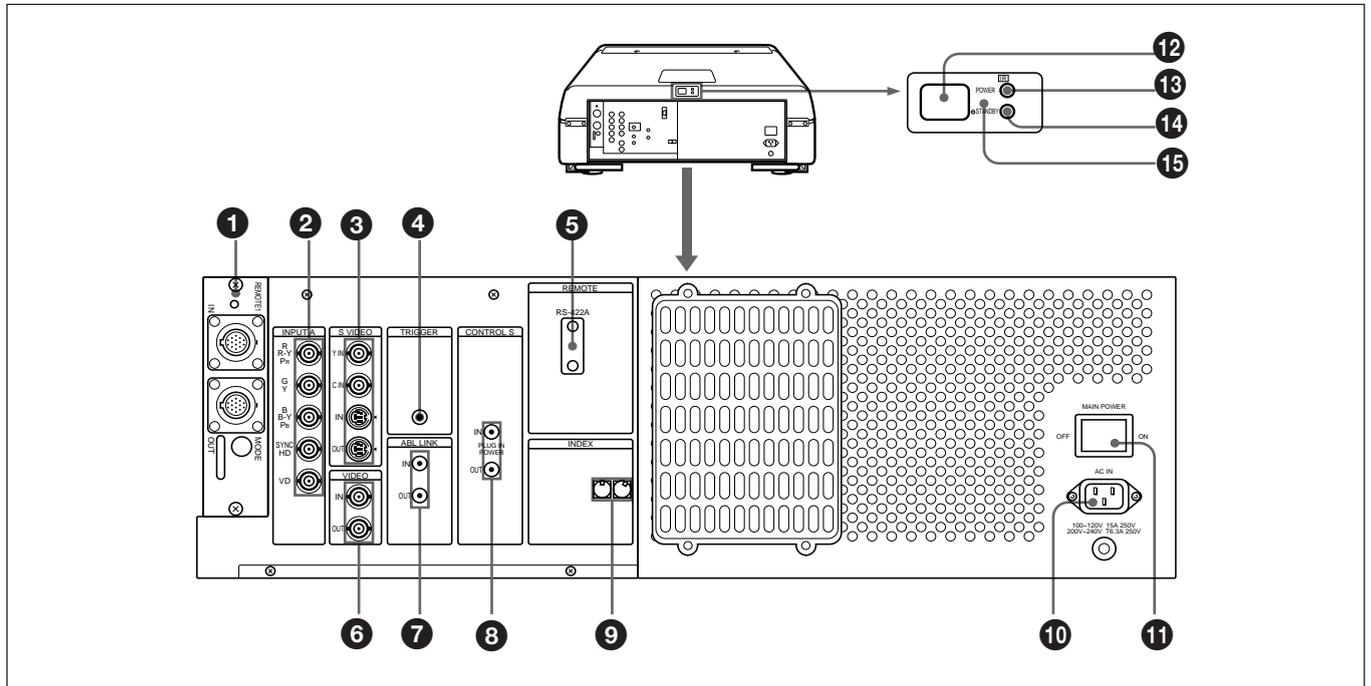


ハンドルのしまいかた

各ハンドルの根元にあるリリースバーを押すと、ハンドルが自動的に収納されます。



後面



① INPUT B (入力B) 基板取り付け部

出荷時は、シグナルインターフェースボードIFB-40が装着されています。用途に応じて別売りのシグナルインターフェースボードを取り付けることができます。

インジケータ（赤）：この基板が選択されると点灯します。
 REMOTE 1 IN (入力) 端子 (14ピンマルチコネクタ) : プロジェクターを2台接続して使用するときは、もう1台のプロジェクターに取り付けたIFB-40のREMOTE 1 OUT 端子に接続します。

REMOTE 1 OUT (出力) 端子 (14ピンマルチコネクタ) : IFB-40のREMOTE 1 IN 端子に接続します。

MODE 切り換えスイッチ : REMOTE 1 のOUT 端子に接続するケーブルの長さによって、MODE 切り換えスイッチを切り換えてください。

ケーブルの長さ	0~2m	~10m	~25m	~50m
ケーブルの型名	SIC-M-1	SIC-M-5	SIC-M-15	SIC-M-50
スイッチの位置	1	2	3	4

② INPUT A (入力A) 端子 (BNC型)

R/R-Y/P_R 端子、G/Y 端子、B/B-Y/P_B 端子、SYNC HD 端子、VD 端子 : コンピューターやビデオカメラの出力端子に接続します。接続機器に応じ、RGB 信号 (R、G、B)、コンポーネント信号 (R-Y、G、B-Y)、ハイビジョン信号 (HDTV P_R、Y、P_B) を入力することができます。

③ S VIDEO IN/OUT (S映像入力/出力) 端子

Y IN 端子、C IN 端子 (BNC 型) : ビデオデッキなどのY 映像出力端子、C 映像出力端子とつなぎます。

S VIDEO IN/OUT 端子 (4 ピンミニ DIN) : ビデオデッキなどのS 映像出力端子またはS 映像入力端子とつなぎます。

ご注意

Y/C IN 端子にケーブルが接続されているとS VIDEO IN 端子は働きません。

④ TRIGGER (トリガー) 端子 (ミニジャック)

プロジェクターの電源を入れたら5V、電源を切ると0Vのトリガー信号が外部機器に出力されます。(この端子から外部機器に電源供給はできません。)

⑤ RS-422A REMOTE (リモート) 端子 (Dサブ9ピン)

RS-422A インターフェースを使ってシステムを拡張するときに使います。

出荷時はカバーがかぶせてあります。ご使用のとき、カバーを外してください。

⑥ VIDEO IN/OUT (映像入力/出力) 端子

VIDEO IN 端子 (BNC 型) : ビデオデッキなどのコンポジット映像出力端子と接続します。

VIDEO OUT 端子 (BNC 型) : カラーモニターのコンポジット映像入力端子と接続します。

⑦ ABL LINK IN/OUT (ABLリンク入力/出力) 端子 (ミニジャック)

複数のプロジェクターを接続するとき、本機の ABL LINK OUT 端子と他のプロジェクターの ABL LINK IN 端子を接続します。明るさを自動制御する ABL (オートブライトネスミッター) の働きをプロジェクター間で同期させ、マルチスクリーンの画像の明るさを均等にします。

⑧ CONTROL S (コントロールS) 端子

IN/PLUG IN POWER (入力/5V 出力) 端子 (ステレオミニジャック) : ソニー製品のコントロールS 出力端子と接続します。

付属のリモートコマンダーの CONTROL S OUT 端子とこの端子を付属のリモコンケーブル (ステレオケーブル) で接続すると、ワイヤードコマンダーとして使用することができます。この場合、リモートコマンダーの電源としてこの端子から 5V が供給されます。

OUT (出力) 端子 (ステレオミニジャック) : ソニー製品のコントロールS 入力端子と接続します。

ご注意

CONTROL S IN 端子にリモコンケーブルなどを接続すると、本機のリモコン受光部は働かなくなります。

⑨ INDEX NO. (インデックス番号) スイッチ

複数のプロジェクターを接続するとき、このスイッチを使って各プロジェクターのインデックス番号を設定します。

設定したインデックス番号を画面に表示するには、リモートコマンダーの NORMAL キーを押してから ENTER キーを押します。

ご注意

インデックス番号は「00」に設定しないでください。「00」にするとプロジェクターが動作しません。

⑩ AC IN (電源) コンセント

付属の電源コードを接続します。

⑪ MAIN POWER (主電源) スイッチ

⑫ エラーコード表示窓

動作上のトラブルが発生したとき、エラーコードを表示します。

⑬ POWER (電源) インジケーター

電源が入るとインジケーターが緑色に点灯します。

⑭ ⏻ STANDBY (スタンバイ) インジケーター

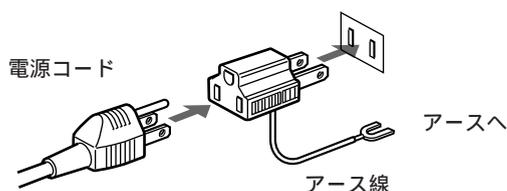
本体の MAIN POWER スイッチを入れるとオレンジ色に点灯します (スタンバイ)。この状態でリモートコマンダーを使って電源を ON/OFF することができます。

⑮ 後面リモコン受光部

電源コードの接続について

プロジェクターに付属の電源コードが部屋のコンセントの形状に合わないときは、付属の変換プラグアダプターを使用して、必ずアース線を接続してください。アース線を接続しないと、ラジオ、テレビなどの受信に障害を与えることがありますのでご注意ください。

変換プラグアダプター (付属)



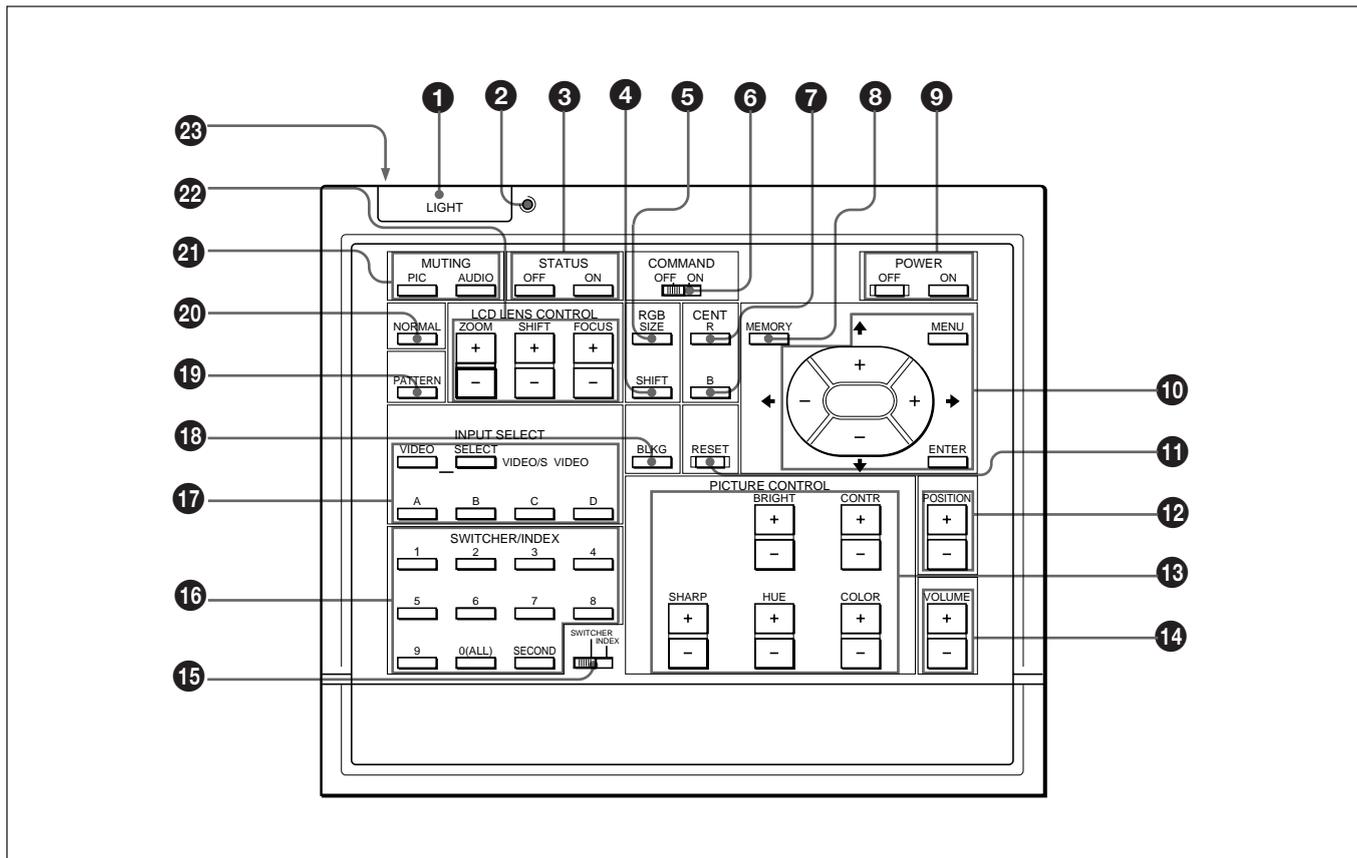
付属の3極→2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続してください。

リモートコマンダー/コントロールパネル

付属のリモートコマンダーと本体のコントロールパネルは、キーの配列と機能が同じです。(発信確認用ランプとCOMMAND ON/OFFスイッチはリモートコマンダーのみにあります。)
リモートコマンダーは、ワイヤード、ワイヤレスのどちらの方法でも使用することができます。

ご注意

VOLUME + / - キー⑭、INPUT SELECT C、Dキー⑰、AUDIO MUTINGキー⑳、LCD LENS CONTROLキー㉒は本機では動きません。



① LIGHT (ライト) ボタン

このボタンを押すとキーの名称表示が照明されます。もう一度LIGHTボタンを押すと消灯します。また、照明中にキーを30秒以上操作しないと、自動的に消灯します。

リモートコマンダーの場合、COMMANDスイッチ⑥がOFFのときにLIGHTボタンを押すと、COMMANDスイッチのみが照明されます。また、プロジェクターとリモートコマンダーをリモコンケーブルで接続しているときは、プロジェクターのCONTROL S IN端子からリモートコマンダー用の電源が供給されます。

② 発信確認用ランプ (リモートコマンダーのみ)

キーを押すたびにランプが光ります。ランプが光らないときは、電池を新しいものと取り換えてください。

③ STATUS ON/OFF (画面表示切り換え) キー

ON : 画面表示を出すときに押します。
OFF : 画面表示を出したくないときに押します。

ご注意

画面表示を「オフ」に設定しても、メニュー画面と警告メッセージは表示されます。

④ RGB SHIFT (シフト調整) キー

入力信号の画面の位置を調整するときに押します。そのあとに、矢印キーで調整します。

それぞれの矢印キーの矢印の方向に画面が移動します。

MEMORYキー⑧を押すと、調整値が記憶され、調整された画面が表示されます。

⑤ RGB SIZE(サイズ調整)キー

入力信号の画面の大きさを調整するときに押します。そのあとに、矢印キーで画面の大きさを調整します。

← : 水平方向に小さくするとき

→ : 水平方向に大きくするとき

↑ : 垂直方向に大きくするとき

↓ : 垂直方向に小さくするとき

MEMORY キー③を押すと、調整値が記憶され、調整された画面が表示されます。

⑥ COMMAND ON/OFF(コマンド入/切)スイッチ(リモートコマンダーのみ)

このスイッチをOFFにすると、LIGHT ボタン以外のリモートコマンダーのキーがすべて動かなくなります。使わないときにOFFにしておくと、電池の消耗を防ぐことができます。

⑦ CENT R/B(センタリング調整赤/青)キー

赤色と青色のセンタリングを調整します。

R : 赤色調整用のテストパターンがスクリーンに出ます。

B : 青色調整用のテストパターンがスクリーンに出ます。

テストパターンを出した後に、矢印キーで調整します。

⑧ MEMORY(データ記憶)キー

調整したデータを記憶します。

⑨ POWER ON/OFF(電源入/切)キー

プロジェクター本体のMAIN POWER スイッチが入っているときに、電源を入/切します。

⑩ メニュー操作キー

メニューを使って様々な設定や調整を行うときに使います。

MENU(メニュー) : メインメニューを画面に表示するときに押します。もう一度押すとメニューは消えます。

矢印キー : メニューの項目を選んだり、数値を変えるときに使います。

ENTER(確定) : メニューの設定項目を確定するときに押します。

⑪ RESET(リセット)キー

調整値をファクトリーデータリセット状態、またはサービスデータリセット状態に戻すときに押します。

⑫ POSITION +/- (位置調整)キー

ブランキング調整のとき、画面上の調整位置を選びます。

また、RGB 信号の画面位置調整のとき、「Vシフト」を「ワイド」か「ナロー」に切り換えます。

⑬ PICTURE CONTROL(画質調整)キー

画質を調整します。

CONTR(コントラスト)、BRIGHT(明るさ)、COLOR(色の濃さ)、HUE(色合い)、SHARP(シャープネス)

⑭ VOLUME +/- (音量)キー

本機では使用しません。

⑮ SWITCHER/INDEX(スイッチャー/インデックス)切り換えスイッチ

SWITCHER/INDEX キーの機能を切り換えます。

SWITCHER : スwitchャーの入力切り換えに使用するとき

INDEX : 複数のプロジェクターをつないでいるときにプロジェクターのインデックス番号を選ぶとき

⑯ SWITCHER/INDEX(スイッチャー/インデックス)キー

SWITCHER/INDEX 切り換えスイッチをSWITCHER に設定したとき

別売りのシグナルインターフェーススイッチャーPC-1271Jを接続しているときに、スイッチャーの入力の番号を切り換えます。番号キー9は動作しません。

SECOND キーはスイッチャーを2台接続した場合に使用します。

2台目のスイッチャー(スイッチャーのSINGLE/SECOND/OTHER スイッチが、SECOND に設定されているほう)の入力を切り換えるときは、SECOND キーを押してから2秒以内に1~8の番号キーを押します。

SWITCHER/INDEX 切り換えスイッチをINDEX に設定したとき

複数のプロジェクターをつないでいるとき、後面のINDEX NO. スイッチで設定したインデックス番号を指定して、調整したいプロジェクターを選びます。1~9の番号キーでインデックス番号を指定してからENTER キーを押します。全部のプロジェクターを同時に調整するときは、0(ALL) キーを押してからENTER キーを押します。

(続く)

⑰ INPUT SELECT (入力選択) キー

スクリーンに映したい入力信号を選択します。

VIDEO (ビデオ) : VIDEO IN 端子または S VIDEO IN (または Y/C IN) 端子に接続した機器からの信号

SELECT VIDEO/S VIDEO (ビデオ/Sビデオ選択) :

VIDEO キーを押してから、このキーで VIDEO IN 端子または S VIDEO IN (または Y/C IN) 端子に接続した機器からの信号を選びます。

A (入力 A) : INPUT A 端子に接続した機器からの RGB 信号、コンポーネント信号またはハイビジョン信号

B (入力 B) : INPUT B に IFB-40 以外の別売りのインターフェースボードを装着したとき

C (入力 C) \ D (入力 D) : 本機では使用しません。

ご注意

入力 A または入力 B から S VIDEO IN (または Y/C IN) に切り換えるときは、初めに VIDEO キーを押してから、SELECT VIDEO/S VIDEO キーを押してください。

⑱ BLKG (ブランキング調整) キー

ブランキング調整のとき、このキーを押してから矢印キーでブランキングを調整します。

⑲ PATTERN (テストパターン表示) キー

内蔵信号のテストパターンを表示させるときに押します。キーを押すごとにクロスパターン、9 × 9 ハッチパターン、ME パターン、カラーバーが順番に切り換わります。

⑳ NORMAL (ノーマル) キー

テストパターンを消すとき、または各調整モードから抜けるときに押します。

㉑ MUTING (ミュート) キー

PIC (画像) : 画像を消したいときに押します。画像を出すにはもう一度このキーを押します。

AUDIO (音声) : 本機では使用しません。

㉒ LCD LENS CONTROL (LCD レンズコントロール) キー

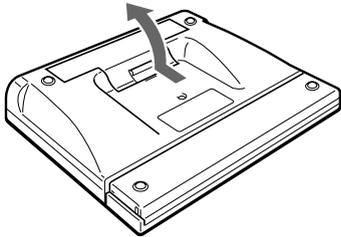
本機では使用しません。

㉓ CONTROL S OUT (コントロール S 出力) 端子 (リモートコマンダーのみ)

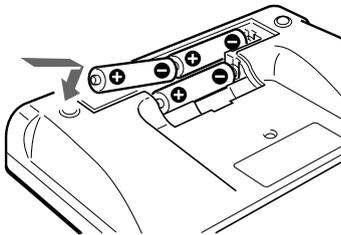
ワイヤードリモコンとして使う場合に、プロジェクターの CONTROL S IN/PLUG IN POWER 端子と接続します。

リモートコマンダーに電池を入れる

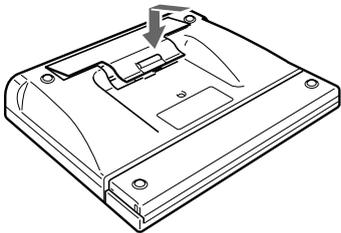
1 ふたを外す。



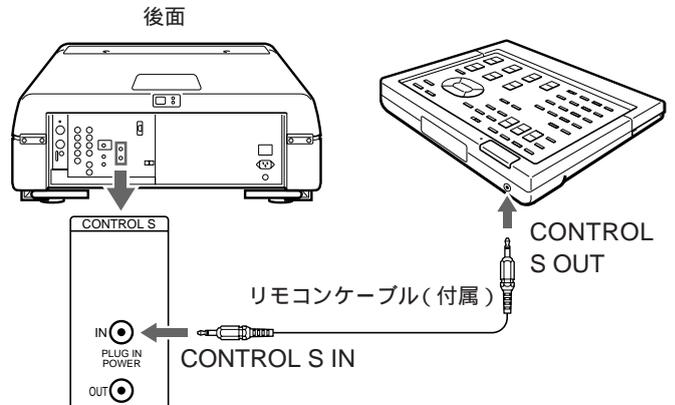
2 +と-の方向を確認して単3形乾電池3個(付属)を入れる。



3 ふたを閉める。



リモートコマンダーをプロジェクターに接続する



乾電池についてのご注意

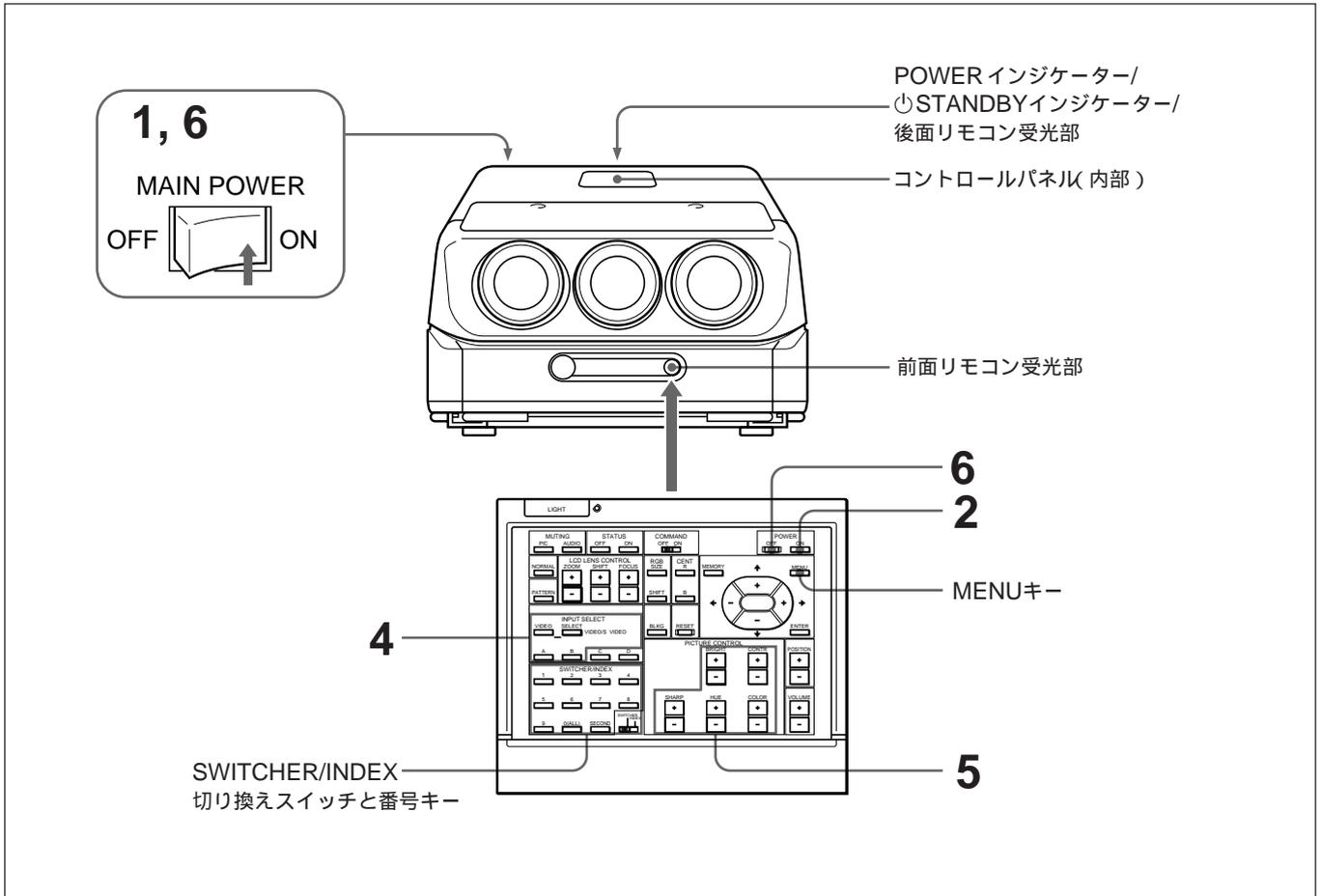


8ページの「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。

ワイヤレスコマンダーとして使用する場合のご注意

- リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。
- 本体にリモコンケーブルを接続した場合、本体のリモコン受光部は機能しません。ワイヤレスリモートコマンダーとしてご使用になるときは、必ず本体とコマンダーの端子からリモコンケーブルを抜いてください。

スクリーンに画像を映す - 投影



1 本体後面の MAIN POWER スイッチを ON にする。

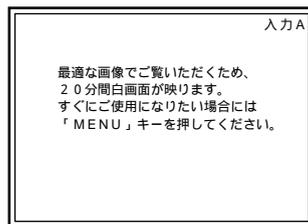
⏻ STANDBY インジケータがオレンジ色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2 リモートコマンダーまたはコントロールパネルの POWER ON キーを押して、電源を入れる。

POWER インジケータが緑色に点灯します。

ウォーミングアップ画面（白い画像と下記のメッセージ）が現われます。電源を入れたときは、必ず約 20 分間の自動ウォーミングアップを行ってください。

メッセージは約 35 秒後にいったん消え、以後 30 秒間隔で 5 秒ずつ表示されます。



調整終了直後などウォーミングアップの必要がないときに、すぐに入力画像を見たいときは、MENU キーを押してください。

3 接続機器の電源を入れる。

4 INPUT SELECTキーで投影したい入力信号を選択する。

VIDEOとSELECTキー：VIDEO IN 端子またはS VIDEO IN(またはY/C IN) 端子に接続した機器からの信号を入力するとき、VIDEO キーを押してから、SELECT キーを押してVIDEO IN 端子またはS VIDEO IN(またはY/C IN) 端子を選びます。

Aキー：INPUT A 端子に接続した機器からのRGB 信号、コンポーネント信号またはハイビジョン信号。

Bキー：INPUT B に装着したIFB-40 以外の別売りのインターフェースボードに接続した機器からの信号。

シグナルインターフェーススイッチャーPC-1271Jを接続しているときは：リモートコマンダーまたはコントロールパネルのSWITCHER/INDEX 切り換えスイッチをSWITCHER 側にして、番号キー1~8を押します。スイッチャーを2台接続しているときに2台目のスイッチャーの入力を選ぶときは、SECOND キーを押してから、番号キー1~8を押します。

ご注意

INPUT AまたはINPUT B に接続した信号を選択する場合は、初期設定メニューの「入力A」または「入力B」で信号の種類を正しく設定してください。初期設定メニューの設定が違っていると、映像が乱れることがあります。詳しくは、「初期設定メニュー」(32ページ)をご覧ください。

5 画質を調整する。

詳しくは、「画質を調整する」(20ページ)をご覧ください。

6 電源を切るときは、リモートコマンダーまたはコントロールパネルのPOWER OFF キーを押してから、プロジェクター本体のMAIN POWER スイッチをOFFにする。

こんなときは	操作
画面表示が出ない ようにする	STATUS OFF キーを押す。 画面表示がオフの状態でもメニュー画面と警告メッセージは表示されます。 再び画面表示を出すときは、STATUS ON キーを押します。
映像だけ消す	MUTING PIC キーを押す。 再び画像を出すときは、MUTING PIC キーを押します。

ご注意

短時間の停電後に電源を入れるときは、リモートコマンダーのPOWER ON キーを押すか、プロジェクター本体のMAIN POWER スイッチを1回押して⏻STANDBY インジケータを消した後に電源を入れ直してください。

画質を調整する

投影した画像を好みの画質に調整します。調整値を記憶しておくこともできます。

1 PICTURE CONTROL キーの各 + / - キーを押して調整する。

BRIGHT	ブライトネス(明るさ)
CONTR	コントラスト
COLOR	色の濃さ
HUE	色合い
SHARP	シャープネス

調整値は、MIN、1、2...98、99、MAX で表示されます。



2 調整が終了したら、MEMORY キーを押す。 調整値が記憶されます。

ダイナミックピクチャーモード(ビデオ信号とコンポーネント信号入力時のみ)
画質調整メニューの「D.ピクチャー」を「オン」に設定すると、メリハリのあるコントラスト
の高い映像がご覧になれます。

詳しくは、「画質調整メニュー」(28ページ)をご覧ください。

標準の画質に戻すには

1 標準値に戻したい項目の PICTURE CONTROL キーを押す。

2 RESET キーを押す。 選ばれている項目だけが標準値に戻ります。

ご注意

- 入力信号がRGBの場合、「色の濃さ」、「色合い」、「シャープネス」を調整することはできません。
- 入力信号が白黒の場合、「色の濃さ」と「色合い」を調整することはできません。
- PALまたはSECAM方式の入力信号の場合、「色合い」を調整することはできません。

画像の大きさと位置を調整する

入力信号の画面の大きさや位置がスクリーンに合うように調整することができます。

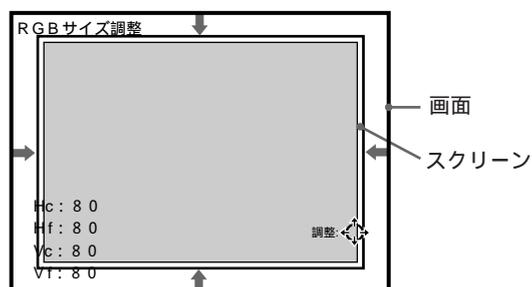
画面サイズの調整

画面の大きさがスクリーンに合っていないときに調整します。

1 RGB SIZE キーを押す。
(RGB 信号以外もRGB SIZE キーで調整します。)

2 ←、→、↑、↓ キーで画面サイズを調整する。

- ↑ : 上下に広がる。
- ↓ : 上下に狭まる。
- : 左右に広がる。
- ← : 左右に狭まる。



3 調整が終了したら、MEMORY キーを押す。
調整値が記憶されます。

標準のサイズに戻すには
ビデオ信号の場合、RGB SIZE 調整モードのときRESET キーを押すと、標準値に戻り
ます。(ビデオ信号以外はリセットできません。)

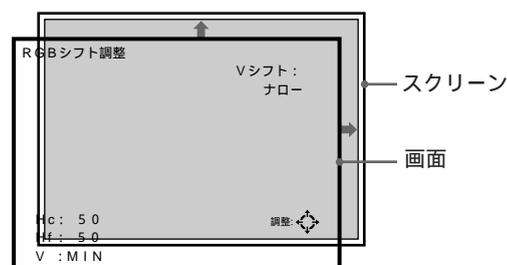
シフト(位置)調整

画面の位置がスクリーンに合っていないときに調整します。

1 RGB SHIFT キーを押す。
(RGB 信号以外もRGB SHIFT キーで調整します。)

2 ←、→、↑、↓ キーで画面の位置を調整する。

- ↑ : 画面全体が上へ移動する。
- ↓ : 画面全体が下へ移動する。
- ← : 画面全体が左へ移動する。
- : 画面全体が右へ移動する。



ご注意

- RGB 信号入力時は、POSITION + / - キーを押すと、上下方向の可変範囲(V シフト)を「ワイド」と「ナロー」に切り換えることができます。
- ビデオ、Sビデオ、コンポーネント信号入力時は、「Vシフト」が「ナロー」に固定され、上下方向の可変範囲がRGBの場合より狭くなります。

- 調整が終了したら、MEMORY キーを押す。
調整値が記憶されます。

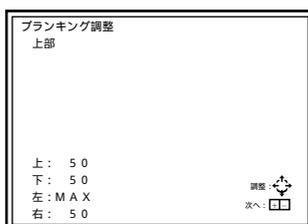
標準の位置に戻すには

ビデオ信号の場合、RGB SHIFT 調整モードでRESET キーを押すと、標準値に戻ります。
(ビデオ信号以外はリセットできません。)

ブランキング調整

入力信号の画像がスクリーンからはみ出す場合、余分な部分をカットします。

- BLKG キーを押す。
- POSITION + / - キーで調整したい部分を選択する。
+ キーを押すたびに、「上部」→「下部」→「左部」→「右部」→「上部」...の順
に変わります。- キーを押すと逆に変わります。



- ←、→、↑、↓キーで調整する。
↑、↓キー：上部、下部調整のとき
←、→キー：左部、右部調整のとき
- 調整が終了したら、MEMORY キーを押す。
調整値が記憶されます。

ご注意

スイッチャーなどを使ってビデオ信号を2系統以上接続した場合は、入力端子ごとに画面サイズ、シフト、ブランキングの調整が必要です。

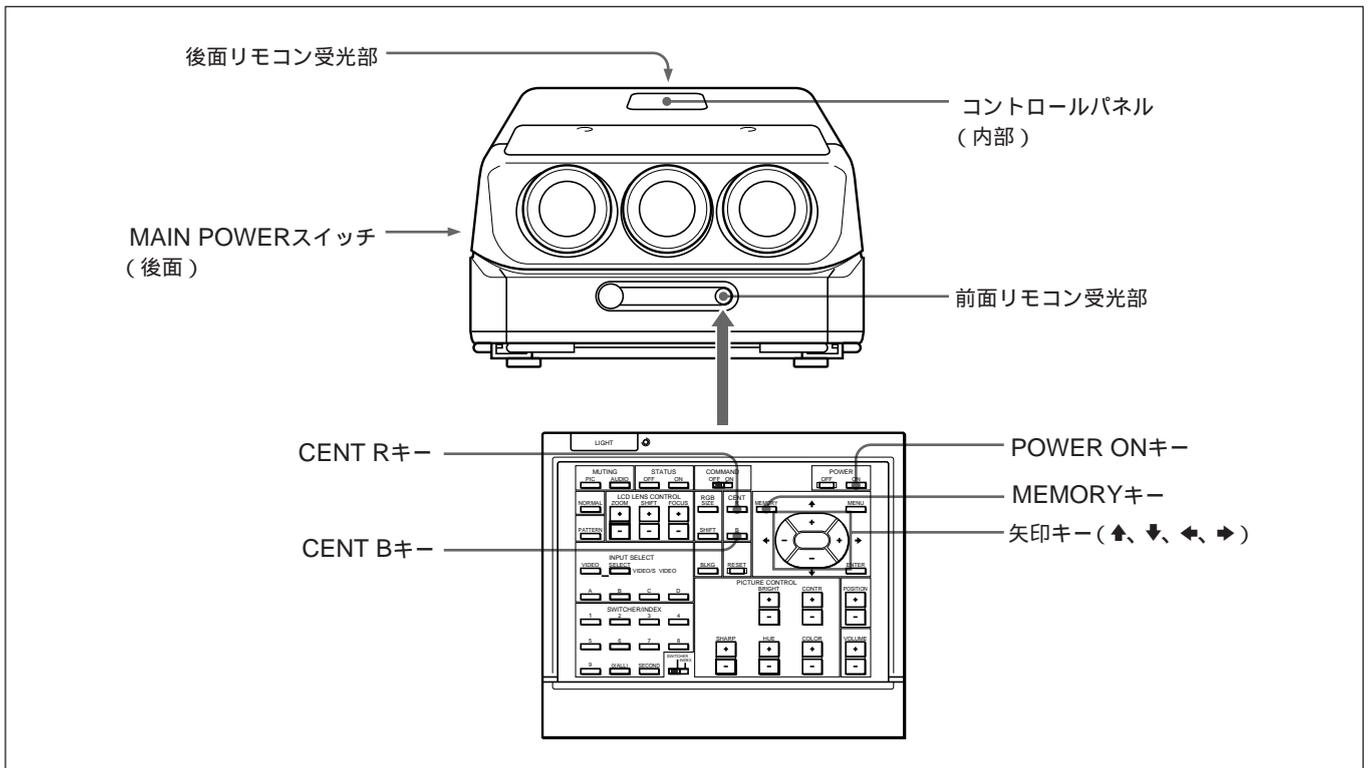
センタリングを調整する

緑のセンターに、赤と青の線を合わせます。

通常は必要ありませんが、レジストレーションがずれてしまった場合は、センタリングを調整し直してください。

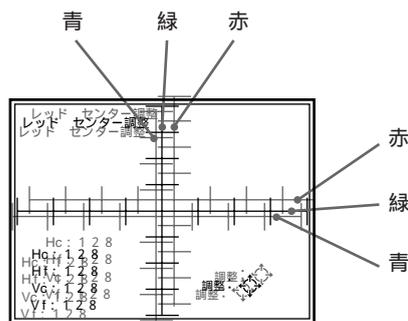
レジストレーション調整とは

プロジェクターは、3本のレンズ(光の3原色)からスクリーンに画像を映し出す仕組みになっています。これら3原色を正しく重ね合わせ、美しいカラー画像を映し出せるようにすることを言います。



1 本体のMAIN POWERスイッチを入れてから、リモートコマンダーまたは本体のコントロールパネルのPOWER ONキーを押して電源を入れる。

2 CENT Rキーを押す。
内蔵のテストパターンがスクリーンに映り、赤の線が調整できる状態になります。

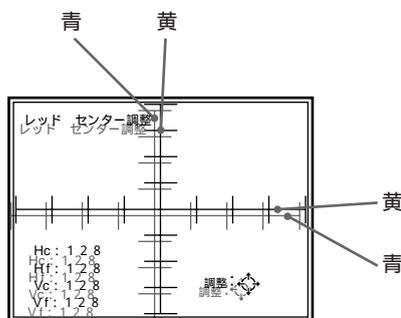


(3色がずれている状態)

(続く)

3 ↑、↓、←、→キーを押して、調整する。

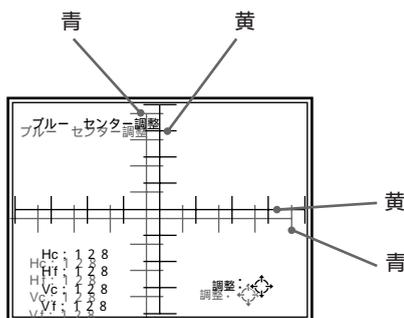
テストパターンの中央を見て、赤の線が緑の線に重なって、黄色に見えるように調整します。線はキーの矢印と同じ方向に動きます。



(緑と赤が重なった状態)

4 CENT B キーを押す。

青の線が調整できる状態になります。

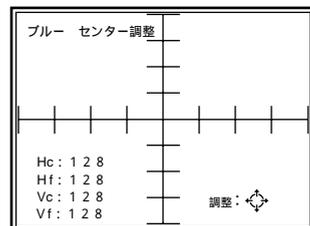


(青のみがずれている状態)

5 ↑、↓、←、→キーを押して、調整する。

テストパターンの中央を見て、青が黄色の線に重なるように調整します。線はキーの矢印と同じ方向に動きます。

赤、緑、青の3色が重なると、線は白く見えます。



(3色が重なった状態)

6 MEMORY キーを押す。

通常の画面に戻ります。

メニュー操作

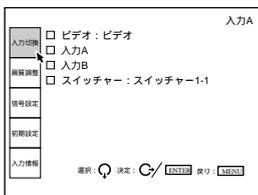
本機では、入力切り換えや画質調整、入力信号の設定、初期設定の変更、入力情報の確認など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。

基本的なメニュー操作

1 MENUキーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。

現在選択されているメニューの項目が青色で表示されます。

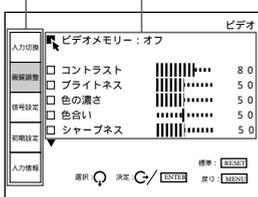


2 ↓または↑キーを押してメニューを選び、→またはENTERキーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。

白の設定項目は、選択できません。

メニュー 設定項目



3 ↓または↑キーを押して設定項目を選び、→またはENTERキーを押す。

選んだ項目の調整画面、または選択画面(ポップアップメニュー)が表示されます。

設定項目が2画面以上ある場合：

設定項目の下に▼が表示されます。↓キーを押して一番下の項目を選び、もう一度↓キーを押すと次の画面に切り換わります。前の画面に戻るには、↑キーを押して一番上の項目を選び、もう一度↑キーを押します。

4 設定項目の調整や選択をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

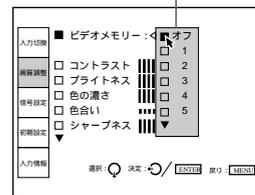
ENTERキーを押すと、変更した数値が確定し、元の画面に戻ります。



設定を選択する場合：

↓または↑キーを押してポップアップメニューから設定を選択し、←またはENTERキーを押す。選択した設定が確定し、ポップアップメニューが消えます。

ポップアップメニュー



詳しくは、それぞれのメニューのページをご覧ください。

メニュー画面を消す

MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

RESETキーを押す。

「リセット終了!」というメッセージが表示され、画面に表示中の設定値がファクトリーデータリセット状態、またはサービスデータリセット状態に戻ります。

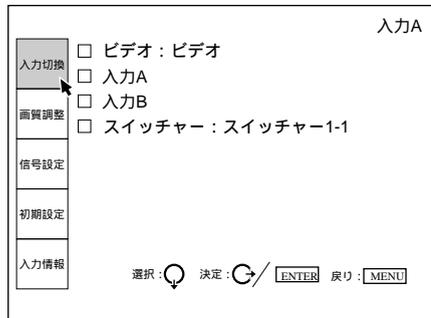
設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。また、MEMORYキーを押して記憶させることもできます。

入力切替メニュー

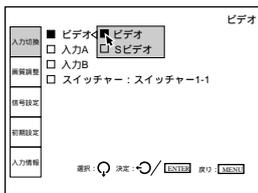
入力信号を切り換えるメニューです。

選択できる項目は緑色で表示されます。選択できない項目は白で表示されます。



ビデオ

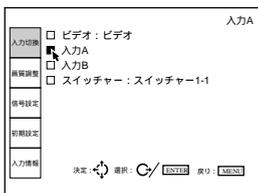
VIDEO IN 端子またはS VIDEO IN 端子(またはY/C IN 端子)に接続された機器の信号を入力するときに選びます。



ポップアップメニューで「ビデオ」または「Sビデオ」を選びます。

入力A

INPUT A 端子に接続された機器の信号を入力するときに選びます。

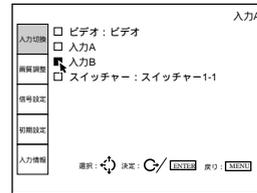


ご注意

- 5BNC ケーブルを使ってシグナルインターフェーススイッチャー PC-1271J を INPUT A 端子へ接続したときは、「入力A」は選択できません。
- 入力信号の種類は、初期設定メニューの「入力A」で正しく設定してください。初期設定メニューの設定が違っていると、映像が乱れることがあります。

入力B

INPUT B に装着した別売りのシグナルインターフェースボードに接続した機器の信号を入力するときに選びます。

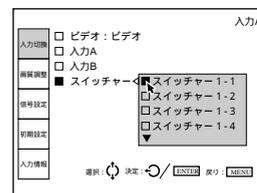


ご注意

- INPUT B にシグナルインターフェースボード IFB-40 を装着して PC-1271J と接続したときは、「入力B」は選択できません。
- 入力信号の種類は、初期設定メニューの「入力B」で正しく設定してください。初期設定メニューの設定が違っていると、映像が乱れることがあります。

スイッチャー

シグナルインターフェーススイッチャー PC-1271J を使用しているとき、スイッチャーの入力を選びます。



ポップアップメニューでSW'ER1-1～2-8を選ぶことができます。SW'ER1-1～2-8は入力がなくてもすべて緑で表示されます。

ご注意

「スイッチャー」は、INPUT B にシグナルインターフェースボード IFB-40 が装着されているとき、または初期設定メニューの「5BNC モード」が「オン」のときのみ選択できます。

画質調整メニュー

画質を調整するメニューです。

調整できる項目は緑色で表示されます。調整できない項目は白で表示されます。

1ページ目

入力切換	<input type="checkbox"/> ビデオメモリー：オフ	ビデオ
画質調整	<input type="checkbox"/> コントラスト 8 0
信号設定	<input type="checkbox"/> ブライツネス 5 0
初期設定	<input type="checkbox"/> 色の濃さ 5 0
入力情報	<input type="checkbox"/> 色合い 5 0
	<input type="checkbox"/> シャープネス 5 0

標準：[RESET]
選択：[方向キー] 決定：[ENTER] 戻り：[MENU]

2ページ目

入力切換	<input type="checkbox"/> D・ピクチャー：オフ	ビデオ
画質調整	<input type="checkbox"/> カラー方式：オート	
信号設定	<input type="checkbox"/> セットアップ：0	
初期設定		
入力情報		

標準：[RESET]
選択：[方向キー] 決定：[ENTER] 戻り：[MENU]

ビデオメモリー

ビデオメモリーの番号を選びます。

入力切換	<input checked="" type="checkbox"/> ビデオメモリー： 1 2 3 4 5	ビデオ
画質調整	<input type="checkbox"/> コントラスト
信号設定	<input type="checkbox"/> ブライツネス
初期設定	<input type="checkbox"/> 色の濃さ
入力情報	<input type="checkbox"/> 色合い
	<input type="checkbox"/> シャープネス

標準：[RESET]
選択：[方向キー] 決定：[ENTER] 戻り：[MENU]

ポップアップメニューの1～10の番号を選択し、画質調整をすると、選んだ番号にメモリーされます。

工場出荷時のデータを使用するときは、「オフ」を選びます。

ビデオメモリーには、入力メモリーの内容からクランプパルス位置とレジストレーションデータを除いたデータが含まれています。

コントラスト

コントラストを調整します。

コントラスト： 8 0

設定値が大きくなると強くなり、小さくなると弱くなります。

ブライツネス

ブライツネスを調整します。

ブライツネス： 5 0

設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。

色の濃さ

色の濃さを調整します。

色の濃さ： 5 0

設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。

色合い

肌色を調整します。

色合い： 5 0

設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。

シャープネス

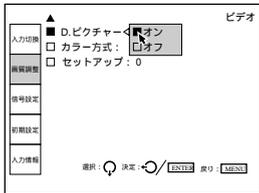
シャープネスを調整します。

シャープネス： 5 0

設定値が大きくなるとくっきりし、小さくなると柔らかくなります。

D. ピクチャー (ダイナミックピクチャー)

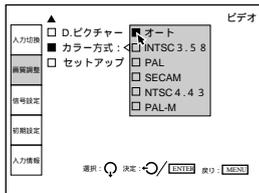
ビデオ (コンポジット映像) 信号、Sビデオ (Y/C) 信号またはコンポーネント信号のとき黒を強調します。



オン: 黒をより黒く再現し、メリハリのきいた画面にします。
 オフ: 画面の暗い部分を、映像ソースに忠実に再現します。

カラー方式

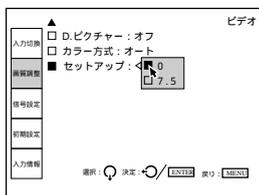
ビデオ (コンポジット映像) 信号またはSビデオ (Y/C) 信号のとき、カラー方式を選びます。



通常は「オート」にしておくと、自動的に判別します。
 信号の状態が悪く、画が乱れたり色がつかない場合は、入力信号のカラー方式に合わせて選択してください。

セットアップ

NTSC 信号のとき、セットアップレベル (黒の基準値) を設定します。



0 (0 IRE) : 通常はこの位置にします。
 7.5 (7.5 IRE) : 映像ソースにより、黒が浮いたように見えるときはこの位置にします。

入力信号と調整・設定項目

項目	入力信号			
	ビデオまたはSビデオ (Y/C)	コンポーネント	ハイビジョン	RGB
コントラスト				
ブライトネス				
色の濃さ				×
色合い	(NTSC _{3.58} /NTSC _{4.43} のみ)	×		×
シャープネス				×
D. ピクチャー			×	×
カラー方式		×	×	×
セットアップ	(NTSC _{3.58} /NTSC _{4.43} のみ)	×	×	×

: 調整・設定できる項目 × : 調整・設定できない項目

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。
設定できる項目は緑色で表示されます。設定できない項目は白で表示されます。

1ページ目

入力A

入力切替

画質調整

信号設定

同期設定

入力情報

色温度設定：6500

クランプ：オート

Vシフト：ワイド

同期選択：オート

コンポーネント フォーマット：
SMPTE / EBU-N1 0

同期判別モード：1

選択：[ENTER] 決定：[ENTER] 戻り：[MENU]

2ページ目

入力A

入力切替

画質調整

信号設定

同期設定

入力情報

RGBサイズ

RGBシフト

ブランキング

選択：[ENTER] 決定：[ENTER] 戻り：[MENU]

色温度設定

入力信号の種類や画像に合わせて好みの色温度を選びます。

入力A

入力切替

画質調整

信号設定

同期設定

入力情報

色温度設定：9300

クランプ：6500

Vシフト：5400

同期選択：3200

コンポーネント 標準

SMPTE / EBU-N1 0

同期判別モード：1

選択：[ENTER] 決定：[ENTER] 戻り：[MENU]

クランプ

入力される画像の輝度がおかしいときに、クランプ位置を変更します。

入力A

入力切替

画質調整

信号設定

同期設定

入力情報

色温度設定：6500

クランプ：オート

Vシフト：同期付G

同期選択：水平 / 複合

コンポーネント：水平 / パルス

三値同期

同期判別モード：1

選択：[ENTER] 決定：[ENTER] 戻り：[MENU]

クランプとは映像の黒レベルを正しい位置に設定する基準となるものです。基準となる位置は映像信号によって異なります。通常、プロジェクター内部のCPUが入力信号を判別し、クランプ位置を自動設定しますが、ノイズなどの影響でまれに誤って判別することがあります。外部信号を映して画面の輝度に異常が見られたときは、クランプ位置の設定を変えてください。

オート：クランプ位置自動設定モード。通常はこの位置にします。

同期付G：黒であるべきところが明るく(もしくは緑色で)浮いたような画像になっているときはこの位置にします。

水平/複合：画面全体が暗かったり、輝度にムラがあるときはこの位置にします。

水平パルス：「同期付G」や「水平 / 複合」に設定しても画面の輝度が正常にならないときは、この位置にしてHシフト調整をします。

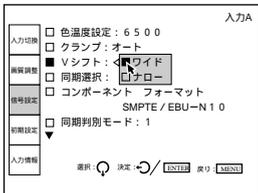
三値同期：三値シンク入力時、画面が暗くなるようなときはこの位置にします。

ご注意

どの位置を選んでも正常な画面にならない場合は、入力している信号が正常でない、接続に問題があるなど別の原因が考えられます。入力信号や接続をもう一度確認してください。

Vシフト(垂直シフト)

入力される画像の上下方向の位置の可変範囲を設定します。



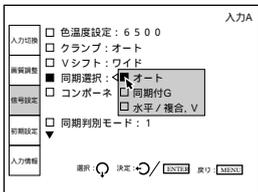
ワイド：通常はこの位置にします(出荷時の設定)
ナロー：スーパーインポーズ信号などの垂直同期信号の周期が一定でない信号を入力した場合は、上下方向に映像が乱れることがあります。この場合はこの位置にして、上下方向への設定可能範囲を狭くします。

ご注意

入力信号がビデオ、Sビデオまたはコンポーネント信号のとき、「Vシフト」は「ナロー」に固定されます。

同期選択

同期信号を選びます。



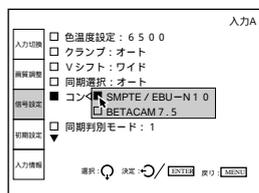
オート：自動設定モード。通常はこの位置にします。
同期付G：同期付G信号に含まれている同期信号を使うときはこの位置にします。
水平/複合,V：外部同期信号を使うときはこの位置にします。

ハイビジョン信号の場合

上記の3項目の代わりに次の項目が選択できます。
内部：信号に含まれている同期を使うときはこの位置にします。
外部(C)：外部の複合同期を使うときはこの位置にします。
外部(HV)：外部の水平、垂直同期を使うときはこの位置にします。

コンポーネントフォーマット

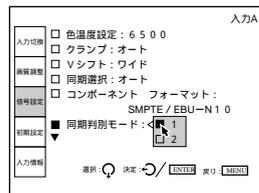
入力されるコンポーネント信号のフォーマットを選びます。



SMPTE/EBU-N10：SMPTEまたはEBU-N10方式のコンポーネント信号のときはこの位置にします。
BETACAM7.5：ベータカム方式のコンポーネント信号のときはこの位置にします。

同期判別モード

通常は「1」に設定します。入力信号の種類によって、同期が乱れるときは「2」に切り換えます。



RGBサイズ

入力信号の画像の大きさを調整します。



◀または▶キーで水平方向の画像の大きさを調整します。
 ▼または▲キーで垂直方向の画像の大きさを調整します。
 Hc、Hfは水平方向のサイズ調整値、Vc、Vfは垂直方向のサイズ調整値です。画像が大きくなるほどサイズ調整値も大きくなります。

RGBシフト

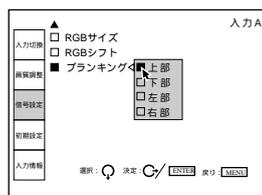
入力信号の画像の位置を調整します。



◀または▶キーで水平方向の画像の位置を調整します。
 ↓または↑キーで垂直方向の画像の位置を調整します。
 Hc、Hfは水平方向のシフト調整値、Vは垂直方向のシフト調整値です。

ブランキング

画像がスクリーンからはみ出す場合、余分な部分をカットします。



カットしたい部分を「上部」、「下部」、「左部」、「右部」から選択し、
 ▶またはENTERキーを押すとブランキング調整画面が出ます。



「上部」または「下部」を選んだときは、↓または↑キーで調整します。
 「左部」または「右部」を選んだときは、◀または▶キーで調整します。

入力信号と調整・設定項目

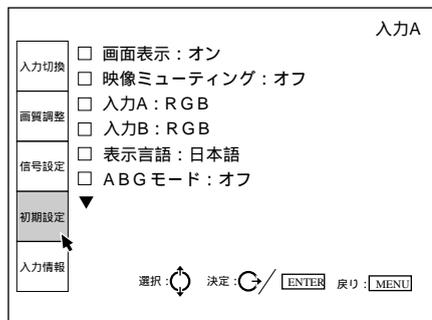
項目	入力信号			
	ビデオまたはSビデオ(Y/C)	コンポーネント	ハイビジョン	RGB
色温度設定				
クランプ	×	×		
Vシフト	×	×		
同期選択	×	×		
コンポーネントフォーマット	×		×	×
同期判別モード				
RGBサイズ				
RGBシフト				
ブランキング				

: 調整・設定できる項目 × : 調整・設定できない項目

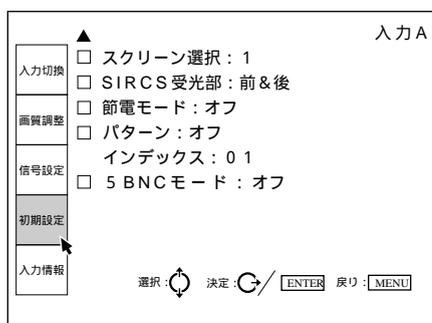
初期設定メニュー

プロジェクターの初期設定を変更するメニューです。
設定できる項目は緑色で表示されます。設定できない項目は白で表示されます。

1ページ目

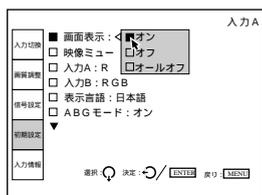


2ページ目



画面表示

画面表示の設定をします。



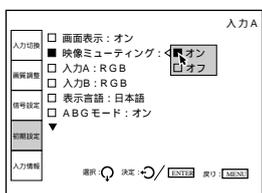
オン: 画面表示をすべて表示します。

オフ: 「入力信号がありません」, 「映像ミュート」の表示と警告メッセージ、メニュー以外の画面表示が出ないようにします。

オールオフ: 警告メッセージとメニュー以外の画面表示をすべて出ないようにします。

映像ミュート

映像を消すとき、「オン」にします。「オン」にしていると「映像ミュート」というメッセージが画面に表示されます。



入力A

INPUT A 端子に入力する信号を選びます。



RGB: RGB 信号を入力するとき

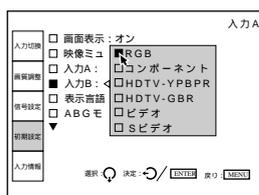
コンポーネント: コンポーネント信号を入力するとき

HDTV-YPBPR: ハイビジョン信号 (Y P B P R) を入力するとき

HDTV-GBR: ハイビジョン信号 (GBR) を入力するとき

入力B

INPUT B に装着したシグナルインターフェースボード IFB-12 (別売り) に入力する信号を選びます。



RGB: RGB 信号を入力するとき

コンポーネント: コンポーネント信号を入力するとき

HDTV-YPBPR: ハイビジョン信号 (Y P B P R) を入力するとき

HDTV-GBR: ハイビジョン信号 (GBR) を入力するとき

ビデオ: コンポジット映像信号を入力するとき

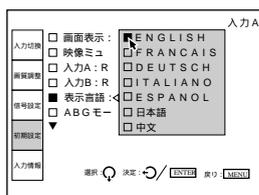
Sビデオ: Sビデオ信号を入力するとき

ご注意

IFB-12以外のシグナルインターフェースボードを装着したときは、この項目は選択できません。

表示言語

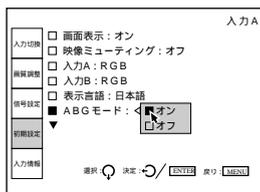
画面表示の言語を変えることができます。



「ENGLISH」(英語), 「FRANCAIS」(フランス語), 「DEUTSCH」(ドイツ語), 「ITALIANO」(イタリア語), 「ESPANOL」(スペイン語), 「日本語」, 「中文」(中国語) から選ぶことができます。

ABGモード

「オン」にすると、ABG (Automatic Background : 自動バックグラウンド)機能が働き、カットオフレベルを一定に保ちます(出荷時は「オン」)。画面の上方に表示されるカットオフレベル検出のための輝線を消したいときは「オフ」にします。

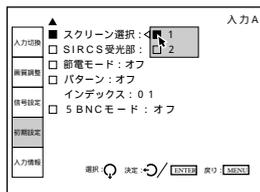


ご注意

「オフ」にすると、ホワイトバランスのカットオフレベルが変化することがあります。

スクリーン選択

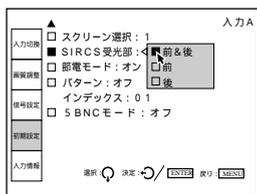
使用するスクリーンを選びます。



- 1: ピーズスクリーン
- 2: マットスクリーン

SIRCS受光部

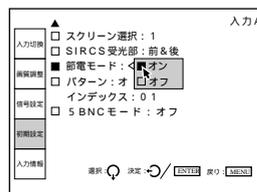
プロジェクターの前面と後面のリモコン受光部の設定をします。蛍光灯などの影響でワイヤレスリモコンが正しく動作しないとき、設定を変更します。



- 前&後: 前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき
- 前: 前面のリモコン受光部だけを働かせるとき
- 後: 後面のリモコン受光部だけを働かせるとき

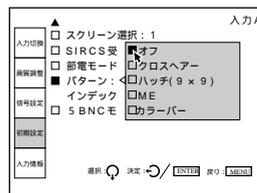
節能モード

「オン」にすると、本体に信号が入力されない状態が10分以上続いたとき節能モードになり、全黒表示されます。節能モードは、信号が入力されたり、キー操作をすると解除されます。



パターン

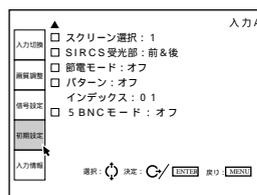
テストパターンの種類を選びます。



「クロスヘア」、「ハッチ(9x9)」、「ME (MEパターン)」、「カラーバー」から選ぶことができます。テストパターンを表示しないときは「オフ」にします。

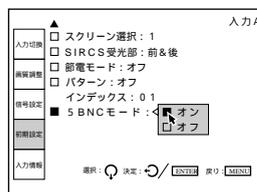
インデックス

本機後面のINDEX NO.スイッチで設定してあるインデックス番号を表示します。



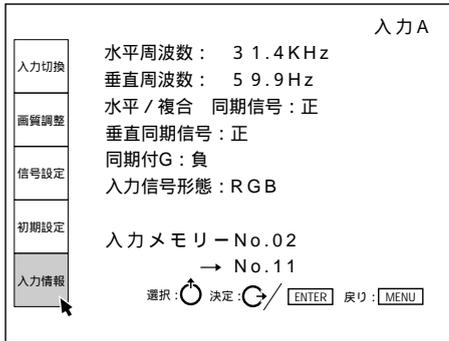
5BNCモード

シグナルインターフェーススイッチャー PC-1271JのMONITOR OUT端子と本機のINPUT A端子を5BNCケーブルで接続するとき「オン」にします。



入力情報メニュー

現在入力中の信号の情報を表示するメニューです。



水平周波数

水平周波数を表示します。

周波数表示は絶対的な値ではなく目安となる値です。

垂直周波数

垂直周波数を表示します。

周波数表示は絶対的な値ではなく目安となる値です。

水平/複合 同期信号

水平または複合同期信号の極性を表示します。

信号が使われているときは緑で、使われていないときは白で表示されます。

正：同期信号の極性が正。

負：同期信号の極性が負。

- - - : 同期信号が入力されていない状態。

垂直同期信号

垂直または複合同期信号の極性を表示します。

信号が使われているときは緑で、使われていないときは白で表示されます。

正：同期信号の極性が正。

負：同期信号の極性が負。

- - - : 同期信号が入力されていない状態。

同期付G

同期付G信号の極性を表示します。

信号が使われているときは緑で、使われていないときは白で表示されます。

負：同期信号の極性が負。

- - - : 同期信号が入力されていない状態。

入力信号形態

入力信号の種類を表示します。

NTSC 3.58: NTSC3.58方式

PAL: PAL方式

SECAM: SECAM方式

NTSC 4.43: NTSC4.43方式

PAL-M: PAL-M方式

B/W: 白黒映像入力

Y/C: Sビデオ(Y/C)入力

RGB: RGB入力

COMPONENT: コンポーネント入力

HDTV YPbPr: ハイビジョンYPbPr入力

HDTV GBR: ハイビジョンGBR入力

IDTV: IDTV入力(別売りの拡張ボードIFB-3000を装着したスリッターPC-1271J接続時)

入力メモリーNo.

1行目は、現在投影中の映像信号が入力されたとき、自動的に呼び出されたデータのメモリー番号を示します。2行目は、その映像信号の調整データが記憶される入力メモリーの番号を示します。緑色の番号は既存メモリー、黄色は新規メモリーを示します。

工場出荷時は、10種類の基本データが以下のメモリー番号に記憶されています。

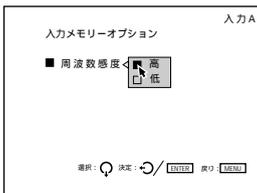
メモリー番号	プリセット周波数		入力信号形態
	fH	fV	
00	15.7 kHz	60 Hz	ビデオ(NTSC3.58)
01	24.8 kHz	56 Hz	RGB
02	31.5 kHz	60 Hz	RGB
03	48.3 kHz	60 Hz	RGB
04	64.0kHz	60 Hz	RGB
05	75.0 kHz	60 Hz	RGB
06	93.7 kHz	75 Hz	RGB
07	106.3 kHz	85 Hz	RGB
08	31.5 kHz	60 Hz	IDTV(NTSC3.58)
09	33.8 kHz	60 Hz	HDTV(Y/Pb/Pr)

オプションメニュー

周波数感度

入力信号の変動によって自動的に入力メモリーを切り換える感度を選択します。RGB 入力の際のみ選択可能です。

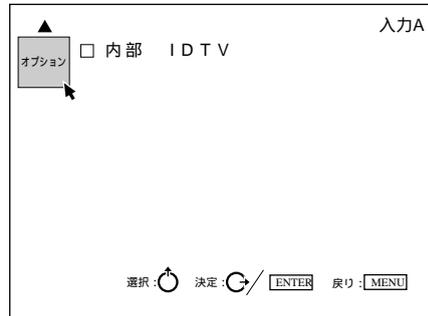
入力情報メニュー画面で▶キーまたはENTERキーを押すと、入力メモリーオプションメニューに切り換わります。もう1回▶キーまたはENTERキーを押すと、周波数感度を選ぶことができます。



高: 出荷時は「高」に設定されています。

低: ビデオの特殊再生時など、入力信号が著しく乱れ、点滅するように見えるとき「低」にします。

プロジェクターに別売りの拡張ボードEXB-DS10を装着したときに使用するメニューです。



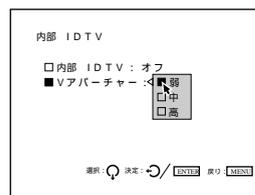
内部IDTV

「オン」にすると入力信号(ビデオ、Sビデオ、コンポーネントまたは15kHzRGB信号)の密度が倍になります。



Vアパーチャー(垂直アパーチャー)

映像の縦方向のシャープネスを選択します。「弱」、「中」、「強」の3段階に設定できます。

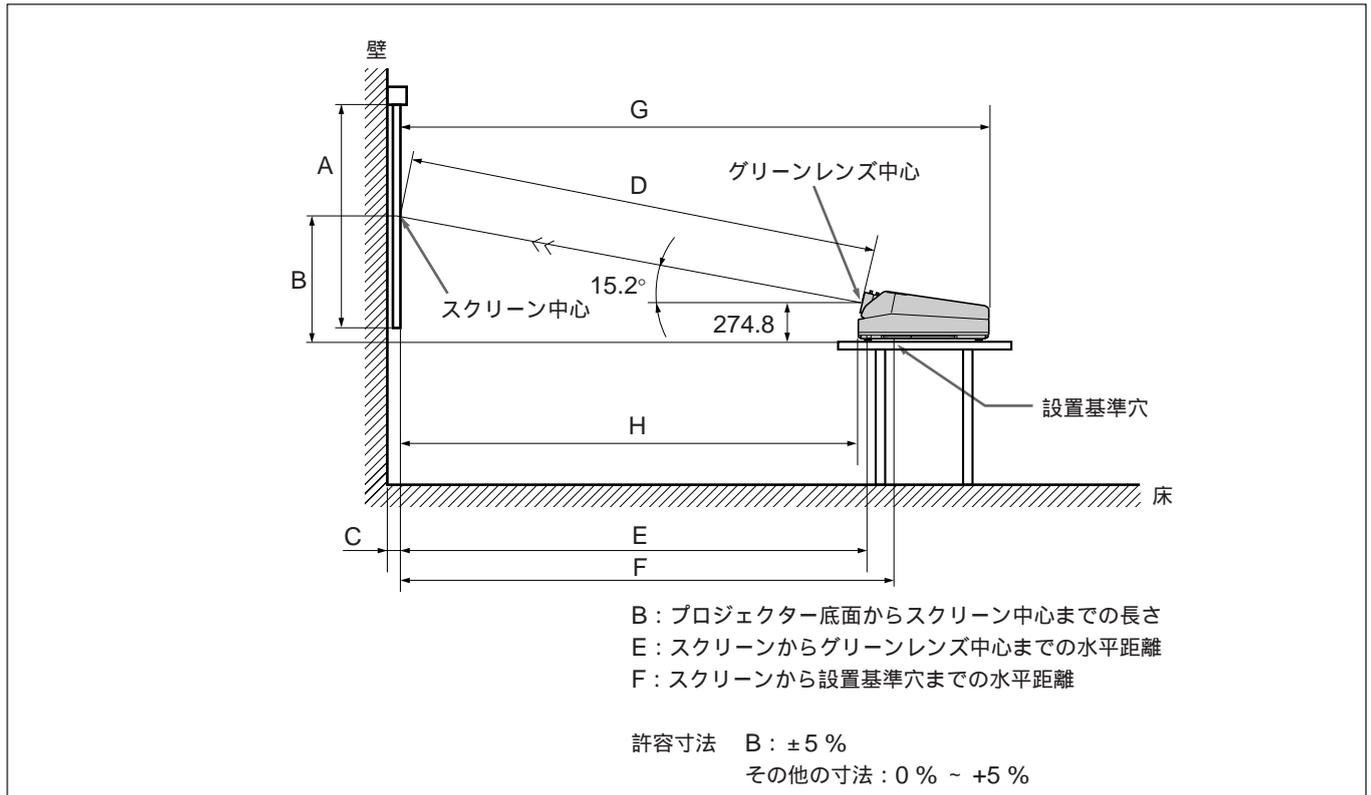


設置例

最初の設置と設置後の調整は、ソニーのサービス担当者にお任せください。このプロジェクターは、60インチから300インチまでの投影に対応しています。

設置例1 床置き、フロント投影(平面スクリーン使用時)

プロジェクターを床に平行に設置してください。



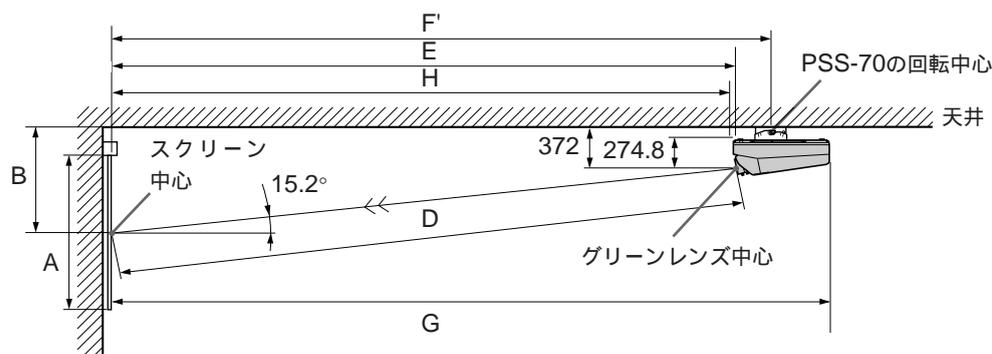
■ は出荷時の設定 単位: mm

スクリーンサイズ (インチ)	60	70	80	90	100	120	150	180	200	250	300
A (Vsize)	914	1067	1219	1372	1524	1829	2286	2743	3048	3810	4572
B (Hcent)	725	794	865	935	1005	1145	1356	1566	1707	2058	2410
C (Width)					28 ^{a)} 、32 ^{b)}	32 ^{c)}					
D (TD)	1727	1990	2256	2522	2787	3316	4117	4916	5446	6778	8117
E (Xlens)	1668	1921	2177	2434	2689	3200	3972	4743	5254	6539	7831
F (Lhole)	1888	2141	2397	2654	2910	3420	4193	4964	5475	6760	8051
G (Lmax)	2575	2828	3084	3341	3596	4107	4879	5650	6161	7446	8738
H (Lfront)	1627	1880	2136	2393	2648	3159	3931	4702	5213	6498	7790

- a) ソニー製スクリーン VPS-80FH、VPS-100FH
- b) ソニー製スクリーン VPS-100FMJ
- c) ソニー製スクリーン VPS-120FH、VPS-120FMJ

設置例2 天井つり、フロント投影(平面スクリーン使用時)

別売りのプロジェクターサスペンションサポートPSS-70を使用して天井に吊り下げます。



E : スクリーンからグリーンレンズ中心までの水平距離

許容寸法 B : ±5 %
その他の寸法 : 0 % ~ +5 %

単位 : mm

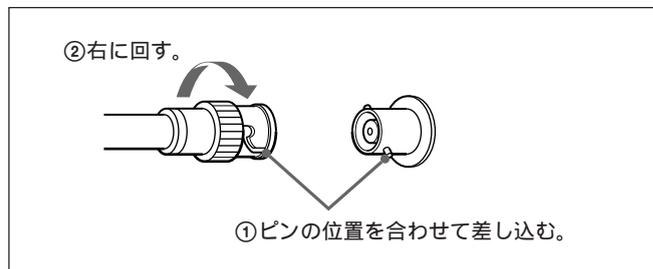
スクリーンサイズ (インチ)	60	70	80	90	100	120	150	180	200	250	300
A (Vsize)	914	1067	1219	1372	1524	1829	2286	2743	3048	3810	4572
B (Hcent)	822	891	961	1032	1102	1241	1452	1663	1804	2155	2507
D (TD)	1727	1990	2256	2522	2787	3316	4117	4916	5446	6778	8117
E (Xlens)	1668	1921	2177	2434	2689	3200	3972	4743	5254	6539	7831
F' (Lpss)	1990	2243	2500	2756	3012	3523	4295	5066	5577	6862	8154
G (Lmax)	2575	2828	3084	3341	3596	4107	4879	5650	6161	7446	8738
H (Lfront)	1627	1880	2136	2393	2648	3159	3931	4702	5213	6498	7790

接続例

接続するとき

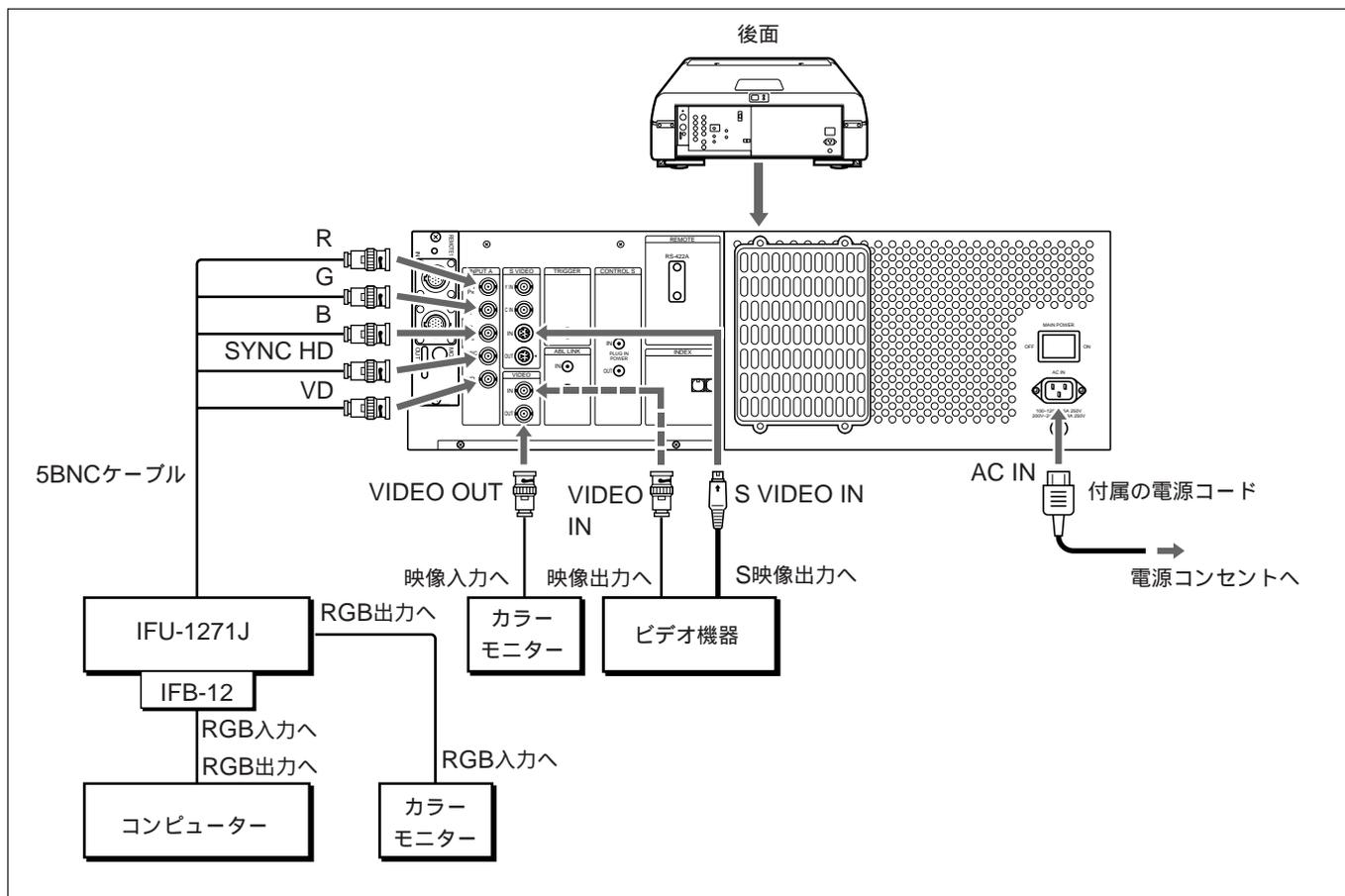
- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続はノイズの原因になります。
- 抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

BNCコネクターの接続のしかた



プロジェクターに直接映像機器を接続する

シグナルインターフェースユニットはIFU-1271Jをご使用ください。

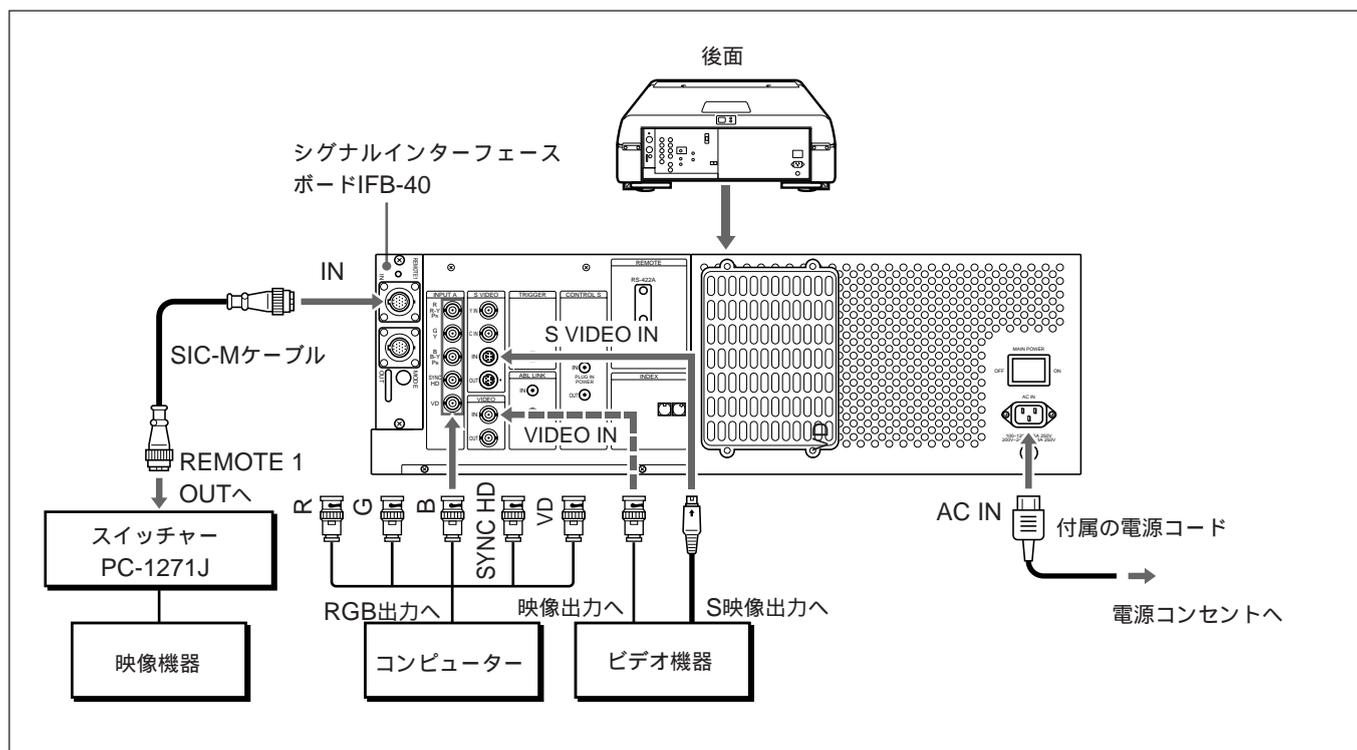


設定のしかた

- 初期設定メニューの「入力A」を「RGB」に設定します。
詳しくは「初期設定メニュー」(32ページ)をご覧ください。
- リモートコマンドのINPUT SELECTキーまたは入力切替メニューの「ビデオ」で、ビデオ機器を接続した入力(「ビデオ」または「Sビデオ」)を選択します。
詳しくは「入力切替メニュー」(26ページ)をご覧ください。

シグナルインターフェーススイッチャーPC-1271Jを使用する

本機に装着されているシグナルインターフェースボードIFB-40に、別売りのシグナルインターフェーススイッチャーPC-1271Jを接続することで、様々な機器を簡単に接続することができます。



使用可能なケーブルは以下のとおりです。

1m	5m	15m	25m	50m
SIC-M-1	SIC-M-5	SIC-M-15	SIC-M-25	SIC-M-50

ご注意

- SIC-Mケーブルのオス側とメス側を正しく接続してください。
- SIC-Mケーブルは50mまで延長することができます。
- 本機のINPUT Bに装着したシグナルインターフェースボードには、ビデオ帯域70MHz以下の信号を入力してください。70MHz以上の信号は5BNCケーブルを使用してINPUT Aへ接続してください。

設定のしかた

- 初期設定メニューの「入力A」を「RGB」に設定します。
詳しくは「初期設定メニュー」(32ページ)をご覧ください。
- リモートコマンダーのINPUT SELECTキーまたは入力切換メニューの「ビデオ」で、ビデオ機器を接続した入力(「ビデオ」または「Sビデオ」)を選択します。
詳しくは「入力切換メニュー」(26ページ)をご覧ください。
- スイッチャーのSINGLE/SECOND/OTHER切り換えスイッチをSINGLEに設定します。

トラブル時の対処

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

症 状	原 因	対 処
電源が入らない。	主電源が入っていない。	本体後面のMAIN POWERスイッチを押してください。(18ページ)
電源は入るが、すぐ切れる。	プロジェクター内部に問題がある。	本体後面のエラーコード表示窓に表示されるエラーコードを確認して、ソニーサービス窓口にご連絡ください。(13ページ)
映像が出ない。	メニューが表示されるときは、外部入力信号または同期信号の入力が正しくない。	現在の入力信号と同期信号を入力情報メニューで確認して、正しく接続してください。(34ページ)
	無信号でメニューが表示されるときは、同期信号の接続が違っている。	信号設定メニューの「同期選択」の設定を確認し、必要であれば同期信号を正しく接続してください。(29ページ)
	無信号でメニューが表示されないときは、プロジェクター内部に問題がある。	ソニーサービス窓口にご連絡ください。
映像が暗い。	コントラストの設定が最小になっている。	CONTR + キーを押して調整してください。(20ページ)
	クランプの設定が正しくない。	信号設定メニューの「クランプ」を正しく設定してください。(29ページ)
映像が乱れる。	入力信号の種類が正しく設定されていない。	初期設定メニューの「入力A」または「入力B」で正しく設定してください。(32ページ)
エラーコード「10」が表示され、チャンネル切り換え以外の操作ができない。	入力信号が安定していない。	入力信号を確かめてください。

本機の性能を保持するために

設置場所について

- ・前面および後面にある通風口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- ・温度・湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所、ほこりの多い場所での使用は避けてください。
- ・プロジェクターの設置してある室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因となりますので冷暖房にご注意ください。
- ・プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入ると多少音を生じます。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- ・集光形のダウンライトにする。
- ・蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- ・太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- ・光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- ・キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

- ・レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。レンズの汚れがひどいときには、カメラ用のレンズクリーンペーパーやクリーナーをご使用ください。

結露について

結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

ブラウン管の焼き付きについて

ビデオディスクプレーヤーやコンピューターなどの静止画像を1時間以上映していると、ブラウン管が焼き付きを起こして画像がスクリーンに残ってしまうことがあります。やむを得ず静止画像を長時間映す場合は、なるべくコントラストを下げてご覧になることをおすすめします。また、異なった画面サイズで長時間ご使用になると、大きいほうの画面に小さいほうの画面の枠が焼き付いてしまうことがあります。(例：縦横比4:3で縦横比16:9のソフトを映した場合) 投影する映像画面は同一サイズでご覧になることをおすすめします。

万一、焼き付きを起こした場合には、ブラウン管の交換が必要になります。この場合、保証期間中であっても有償交換となりますのでご注意ください。交換についてはお買い上げ店にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。
保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式	3管、3レンズ、水平インライン方式
ブラウン管	8インチ高輝度着色液冷管、マグネフォーカス付き
レンズ	高性能HACCレンズ
投影画面	120インチ(対角線)標準 60インチ~300インチ(対角線)に調節可能
光出力	ANSI ¹⁾ 基準測定時(色温度6500°K) 240 lm (fH: 110 kHz, fV: 50 Hz) 200 lm (fH: 15 kHz, fV: 60 Hz) ホワイトピーク: 1200 lm 全白: 350 lm

電気系

カラー方式	NTSC、PAL、SECAM、NTSC ^{4,43} 、PAL-M 自動切り換え
解像度	700 TV 本(ビデオ入力時) 1100 TV 本(ハイビジョン信号入力時) 1700 × 1200 ドット(RGB入力、fH: 75 kHz, fV: 60 Hz時)
RGB入力	水平周波数 15 kHz ~ 110 kHz 垂直周波数 38 Hz ~ 150 Hz
テスト信号	各種テストパターン内蔵

入/出力

VIDEO	VIDEO IN: BNC型(1)、コンポジットビデオ入力、1 Vp-p ± 2 dB、75 終端、負極性同期付 VIDEO OUT: BNC型(1)、VIDEO IN端子のループスルー出力
S VIDEO	Y IN: BNC型(1)、Y(輝度)信号入力、1 Vp-p ± 2 dB、75 終端、負極性同期付 C IN: BNC型(1)、C(クロマ)信号入力、1 Vp-p ± 2 dB、75 終端、負極性同期付

INPUT-A

S VIDEO IN: ミニDIN4ピン(1)	Y(輝度)信号: 1 Vp-p ± 2 dB、75 終端、負極性同期付 C(クロマ)信号: 0.286 Vp-p ± 2 dB、75 終端(NTSC信号) 0.3 Vp-p ± 2 dB、75 終端(PAL信号)
S VIDEO OUT: ミニDIN4ピン(1)、S VIDEO IN端子のループスルー出力	BNC型(5) アナログRGB/コンポーネント: R/R-Y: 0.7 Vp-p ± 2 dB、75 終端、正極性 G: 0.7 Vp-p ± 2 dB、75 終端、正極性 同期付きG/Y: 1 Vp-p ± 2 dB、75 終端、負極性同期付 B/B-Y: 0.7 Vp-p ± 2 dB、75 終端、正極性 SYNC HD: 複合同期入力、0.6 ~ 8 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性同期、垂直同期幅: 水平走査期間(2H)以上 VD: 垂直同期入力、0.6 ~ 8 Vp-p ハイインピーダンス、正負極性同期、幅: 水平走査期間(2H)以上 HDTV Y/P _B /P _R : Y: 1 Vp-p ± 2 dB、75 終端、負極性同期: ± 0.3 Vp-p、3値同期: 0.3 Vp-p P _B /P _R : 0.35 Vp-p ± 2 dB、75 終端 HDTV GBR: 同期付きG: 1 Vp-p ± 2 dB、75 終端、負極性同期: ± 0.3 Vp-p、3値同期: 0.3 Vp-p B/R: 0.7 Vp-p ± 2 dB、75 終端

1) ANSI 基準ルーメンは、American National Standard IT7.215. に定められた測定方法によります。

CONTROL S	IN/PLUG IN POWER:ステレオミニジャック (1)、 5 Vp-p、プラグインパワー、DC 5 V 最大 60 mA 出力 OUT:ステレオミニジャック (1) CONTROL S IN 端子のループスルー 出力
TRIGGER	ミニジャック (1) パワーオン時: DC 5V 出力インピーダンス4.7 k パワーオフ時: 0V
ABL LINK	IN: ミニジャック (1) OUT: ミニジャック (1)
RS-422A	D サブ9ピン (1)

一般

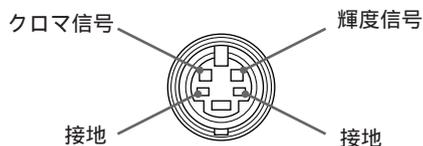
最大外形寸法	695 × 358 × 948 mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約 83 kg
電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	最大 760 W (スタンバイモード時: 7 W)
動作温度	0 ~ + 40
動作湿度	35 % ~ 85 % (結露しないこと)
保存温度	- 20 ~ + 60
保存湿度	10 % ~ 90 %
付属品	リモートコマンダー RM-PJ1000 (1) 単3形乾電池 (3) リモコンケーブル 15m (1) 電源コード (1) 変換プラグアダプター (1) レンズキャップ (3) マグネフォーカス調整用キャップ (1) 取扱説明書 (1) 保証書 (1) サービス窓口・ご相談窓口のご案内 (1)
取得安全規格	VCCI 1種

別売りアクセサリ

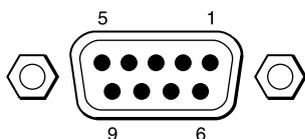
シグナルインターフェーススイッチャー	PC-1271J
シグナルインターフェースユニット	IFU-1271J
プロジェクターサスペンションサポート	PSS-70、PSS-10
インターフェースボード	IFB-12/20/21/30/1000
シグナルインターフェースケーブル	SIC-10/20A/20B/20C/21/ 22/23/24/24A/24B/25/26/26A/30/31/M1/5/15/25/50
拡張ボード	EXB-DS10 (内蔵倍速ボード)
リモートコマンダー	RM-PJM800
リモートコントロールユニット	RM-PJ10
マウスレシーバーユニット	RM-PJ20
シグナルアダプター	ADP-10/20
HD D サブ15ピン - 5BNC ケーブル	SMF-400
HD D サブ15ピン - HD D サブ15ピンケーブル	SMF-401
9ピンリモートケーブル	RCC-5G/10G/30G (RS-422A用)
80 インチフラットスクリーン	VPS-80FH
100 インチフラットスクリーン	VPS-100FH
120 インチフラットスクリーン	VPS-120FH
80 インチ電動フラットスクリーン	VPS-80FMJ
100 インチ電動フラットスクリーン	VPS-100FMJ
120 インチ電動フラットスクリーン	VPS-120FMJ

ピン配列

S VIDEO端子 (ミニDIN 4ピン)

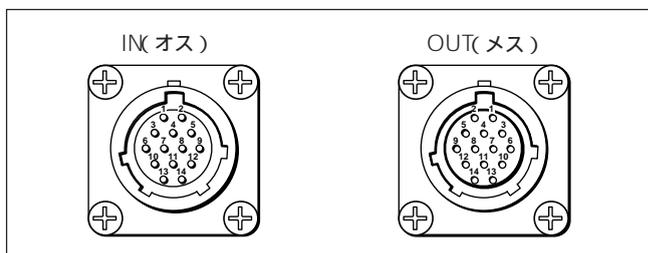


RS-422A端子 (Dサブ 9ピン)



ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
1	GND 接地	6	GND 接地
2	$\overline{\text{TX}}$ 受信	7	TX 受信
3	RX 送信	8	$\overline{\text{RX}}$ 送信
4	GND 接地	9	GND 接地
5	未使用		

IFB-40のREMOTE 1端子 (14ピンマルチコネクター)



ピン No.	信号	信号レベル
1	GND	アース
2	水平/複合同期	1Vp-p±3dB
3	SIRCS	5Vp-p±1dB
4	非接続	
5	GND (SIRCS)	アース
6	B/C	B: 0.7Vp-p±3dB、75Ω C (NTSC): 0.286Vp-p±3dB、75Ω C (PAL): 0.3Vp-p±3dB、75Ω
7	GND (B.R)	アース
8	GND (G)	アース
9	G/Y	G: 0.7Vp-p (重畳信号は1Vp-p)±3dB、75Ω Y: 1Vp-p±3dB、75Ω
10	RGB/Video	5V/0V
11	R/複合映像	R: 0.7Vp-p±3dB、75Ω 複合映像: 1Vp-p±3dB、75Ω
12	複合映像/YC	5V/0V
13	音声	500mVrms、出カインピーダンス1kΩ
14	垂直同期	1Vp-p±3dB、75Ω

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

アジャスター	10
RS-422A端子	12
ピン配列	44
「RGBサイズ」	30
「RGBシフト」	31
「色温度設定」	29
インデックス番号	13
ウォーミングアップ画面	18
「映像ミュート」	32
映像だけ消す	19
SIC-Mケーブル	39
「ABGモード」	33
エラーコード表示窓	13
オプションメニュー	35

か行

各部の名称と働き

後面	12
コントロールパネル	14
前面	10
リモートコマンダー	14
画質調整メニュー	27
画質を調整する	20
画像を映す	18
カバー	
コントロールパネルカバー	10
「画面表示」	19、32
画面サイズの調整	21
画面表示が出ないようにする	19
記憶	25
「カラー方式」	28
「クランプ」	29
クランプ位置の設定	29
後面の名称と働き	12
「コンポーネントフォーマット」	30
「5BNCモード」	33

さ行

サイズ調整	21
「SIRCS受光部」	33
シグナルインターフェーススイッチャー	
PC-1271J	19、39
シグナルインターフェースボード	
IFB-40	12、39
シグナルインターフェースユニット	
IFU-1271J	38

シフト(位置)調整	21
仕様	42
使用上のご注意	41
初期設定メニュー	32
「周波数感度」	35
信号設定メニュー	29
「スイッチャー」	26
スクリーン	
スクリーンサイズ	36、37
「スクリーン選択」	33
接続例	
シグナルインターフェース	
スイッチャーを使用する	39
直接、映像機器を接続する	38
リモコンをプロジェクターに接続する	17
「セットアップ」	28
設置例	
天井つり、フロント投影	37
床置き、フロント投影	36
設置基準穴	36
「節電モード」	33
センタリング調整	23

た行

ダイナミックピクチャー	20
調整	
画質	20
画面サイズ	21
画面の輝度(クランプ位置の設定)	29
シフト(位置)調整	21
センタリング	23
ブランキング	22
レジストレーション	23
テストパターン	23、33
「D.ピクチャー」	28
電池の入れかた	17
電源コードの接続	13
「同期選択」	30
「同期判別モード」	30
トラブル時の対処	40

な行

「内部IDTV」	35
「入力A」	26、32
入力切替メニュー	26
入力情報メニュー	34
「入力B」	26、32
入力メモリーオプションメニュー	35

は行

「パターン」	33
ハンドルの使いかた、しまいかた	11
ハンドルリリースレバー	11
BNCケーブル	38、39
BNCコネクターの接続のしかた	38
「ビデオ」	26
「ビデオメモリー」	27
「表示言語」	32
「Vアパーチャー」	35
「Vシフト」	30
「ブランキング」	31
ブランキング調整	22
プロジェクターサスペンション	
サポートPSS-70	37
標準の位置に戻す	22
標準の画質に戻す	20
標準のサイズに戻す	21
保証書とアフターサービス	41

ま、や行

メニュー

オプション	35
画質調整	27
初期設定	32
信号設定	29
入力切替	26
入力情報	34
入力メモリーオプション	35
メニュー操作	25
メニュー画面を消す	25

ら行

リセット	21
設定値をリセットする	25
標準の位置に戻す	22
標準のサイズに戻す	21
リモコン受光部	
前面リモコン受光部	10
後面リモコン受光部	13
リモートコマンダー	
キーの名称と働き	14
電池の入れかた	17
プロジェクターに接続する	17
レジストレーション調整	23

お問い合わせ

ソニー株式会社 B & I 営業本部

北海道 営業所 (011)231-8121	名古屋 営業所 (052)201-6871
東北 営業所 (022)257-7830	北陸 営業所 (0762)40-8110
関東 営業所 (048)645-6880	京滋 営業所 (075)691-7860
新潟 出張所 (025)270-3253	大阪 営業所 (06)531-4111
千葉 営業所 (043)297-8531	神戸 営業所 (078)322-0851
東京 営業所 (03)5448-6740	中国 営業所 (082)241-9211
東京システム営業所 (03)5448-6740	四国 営業所 (0878)31-3003
多摩 営業所 (0425)75-0201	九州 営業所 (092)741-2761
松本 出張所 (0263)25-4551	システム営業1部/2部 (03)5448-5446
横浜 営業所 (045)243-6711	
静岡 営業所 (054)253-8162	